

第3次二宮町環境基本計画策定のための
町民アンケート調査
報告書

令和3年10月

目次

【1】調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象・方法	1
3. 設問内容	1
【2】集計結果	2
1. 回答者の属性	2
2. 周辺環境に対する満足度・環境に対する取り組み	5
3. 環境づくりへの参加や役割	36
4. 取組項目に対する効果と今後重点的に取り組むべき項目	42
5. 自由意見	44
6. 調査結果のまとめ	51

【1】調査概要

1. 調査の目的

令和5年3月策定予定の第3次二宮町環境基本計画の策定にあたって、町民の環境等に係る現状に関する満足度や将来の意向等を聴取して、計画の方向性を検討する上での参考とすることを目的にアンケート調査を実施した。

2. 調査対象・方法

調査対象	二宮町在住の18歳以上の男女
調査期間	令和3年8月16日～8月31日
調査方法	郵送配布・郵送回収
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出
配付数	1,000票
回収数	447票(44.7%)

3. 設問内容

1. 回答者の属性

問1 性別 問2 年齢 問3 居住地区 問4 居住年数 問5 同居人数

2. 周辺環境に対する満足度・環境に対する取り組み

問6 現在の環境の快適さ
問7 各環境項目に対する満足度
問8 二宮町の環境を良くするために重要と思われる項目
問9 町内で最も保全すべき環境
問10 町内で最も改善すべき環境
問11 ごみの減量や省エネルギーへの関心
問12 ごみの減量について、どのような取組を行っているか
問13 ごみの減量について、なぜ取組を行っていないか
問14 ごみの減量や省エネルギーのために、町内で行うべき取組

3. 環境づくりへの参加や役割

問15 あなたが現在行っている環境活動について
問16 今後の環境活動への意向
問17 今後どのような環境づくりがしたいか
問18 なぜ環境づくりをしたくないか
問19 環境を守るための役割分担の在り方

4. 町の環境行政のあり方について

問20 取組項目に対する効果と今後重点的に取り組むべき項目
問21 自由意見

※調査結果については、一部、第2次二宮町環境基本計画策定にあたって実施したアンケート調査結果（平成23年7月）と比較している。

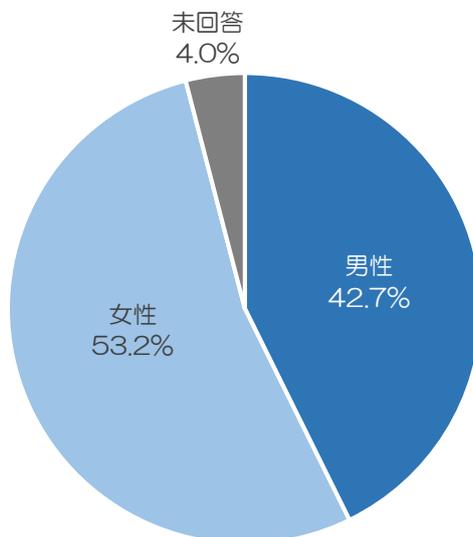
※グラフ、表に表記されている値は四捨五入の関係により、合計が100%にならない場合がある。

【2】集計結果

1. 回答者の属性

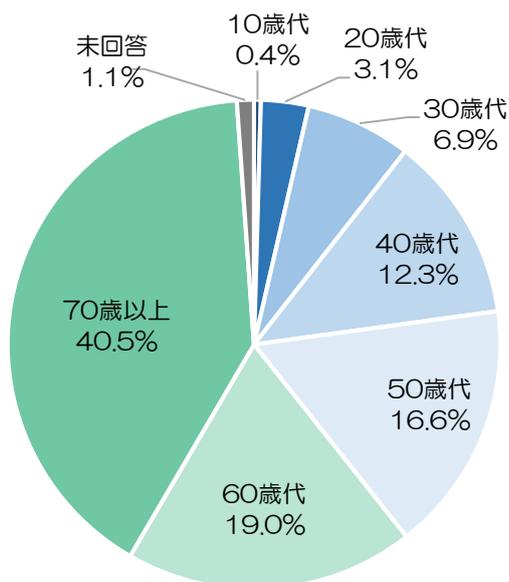
問 1. 性別

回答者の性別は男性が 42.7%、女性が 53.2%であり、女性の回答者の割合がやや高かった。



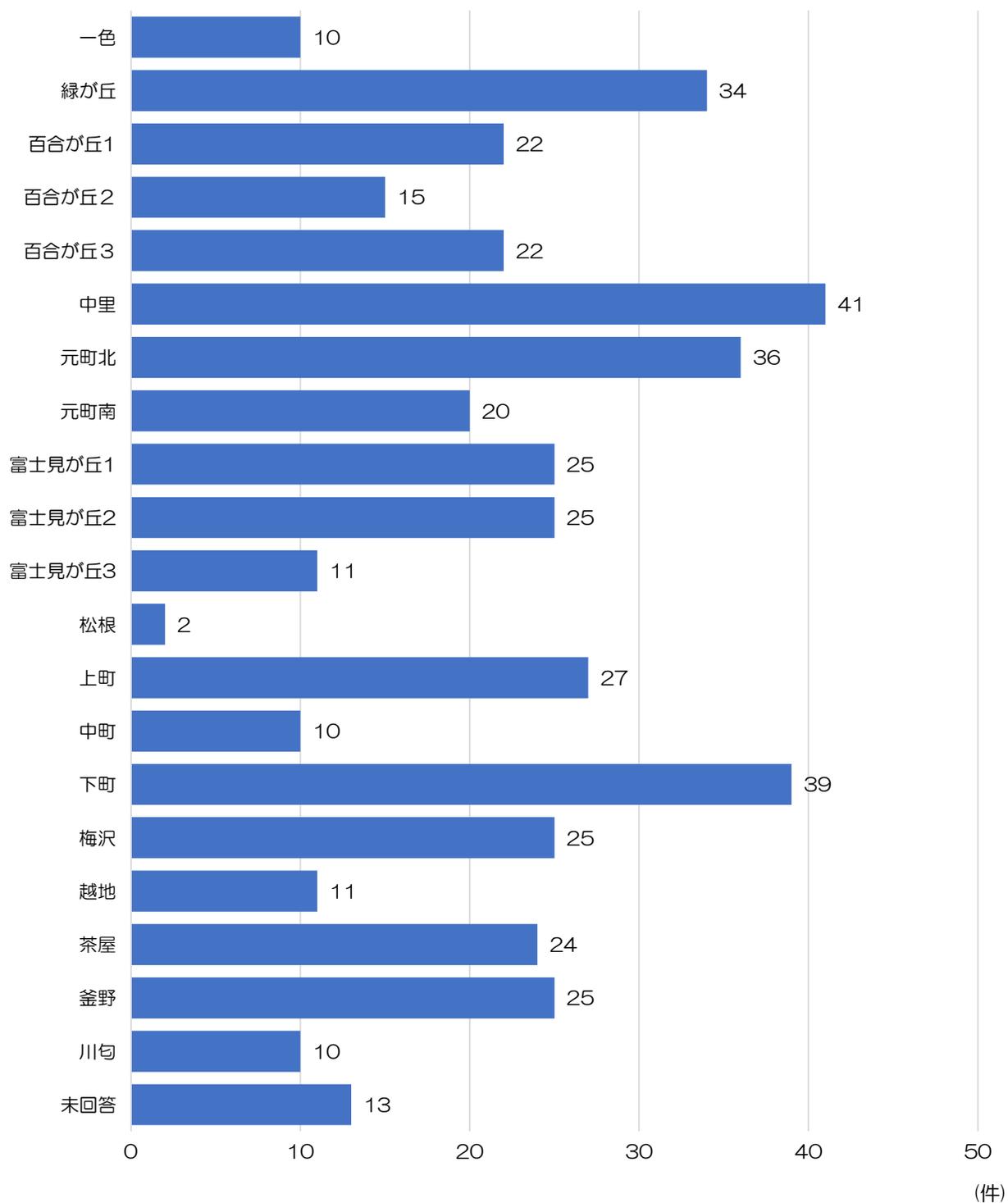
問 2. 年齢

回答者 447 名に占める年齢は、次の通りとなっている。



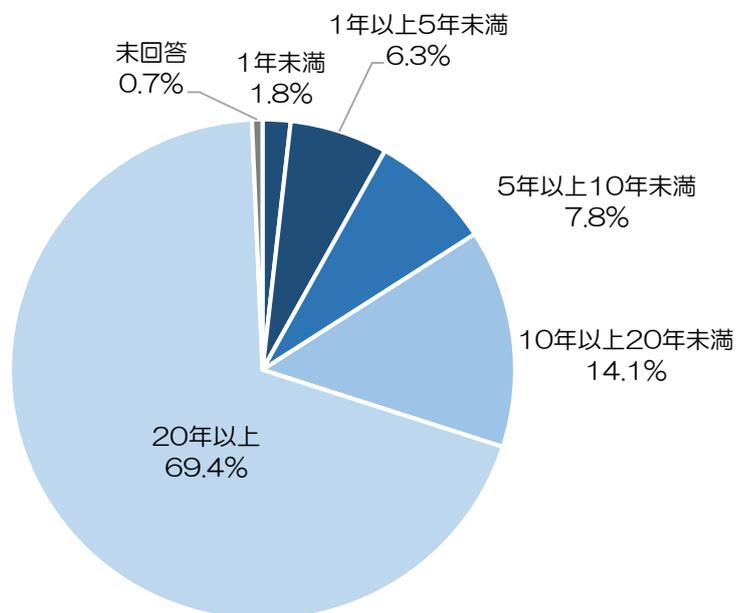
問3. 居住地区

回答者の居住地区は、最も多い回答が中里地区であり、次いで下町地区、元町北地区、緑が丘地区となっている。



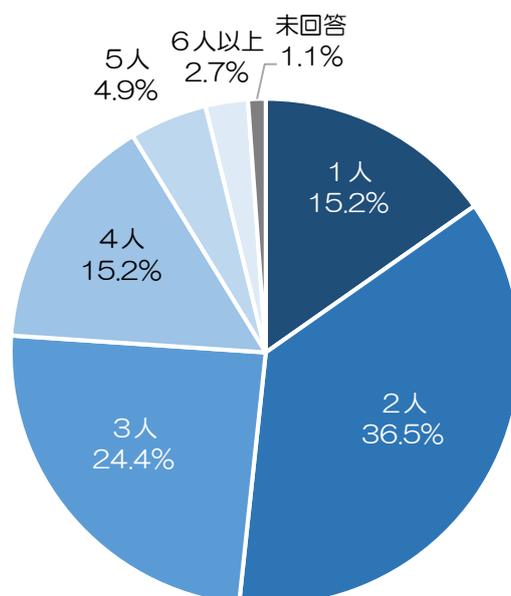
問4. 居住年数

回答者の居住年数は、20年以上が69.4%と最も多く、次いで10年以上20年未満が14.1%となっており、長く本町に居住している回答者が多くなっている。



問5. 同居人数

回答者の同居人数は、2人が最も多く36.5%、次いで3人の24.4%となっている。単身世帯は15.2%となっている。

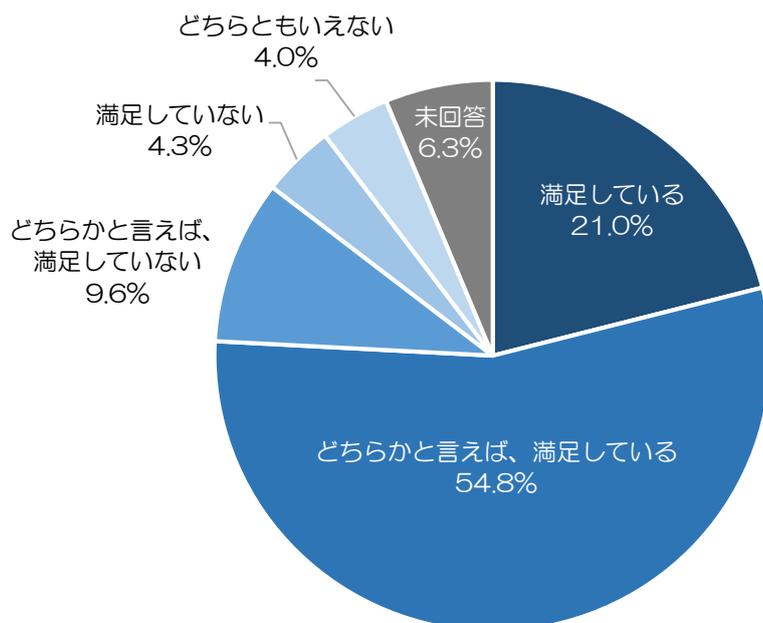


2. 周辺環境に対する満足度・環境に対する取り組み

問6. 現在の環境の満足度

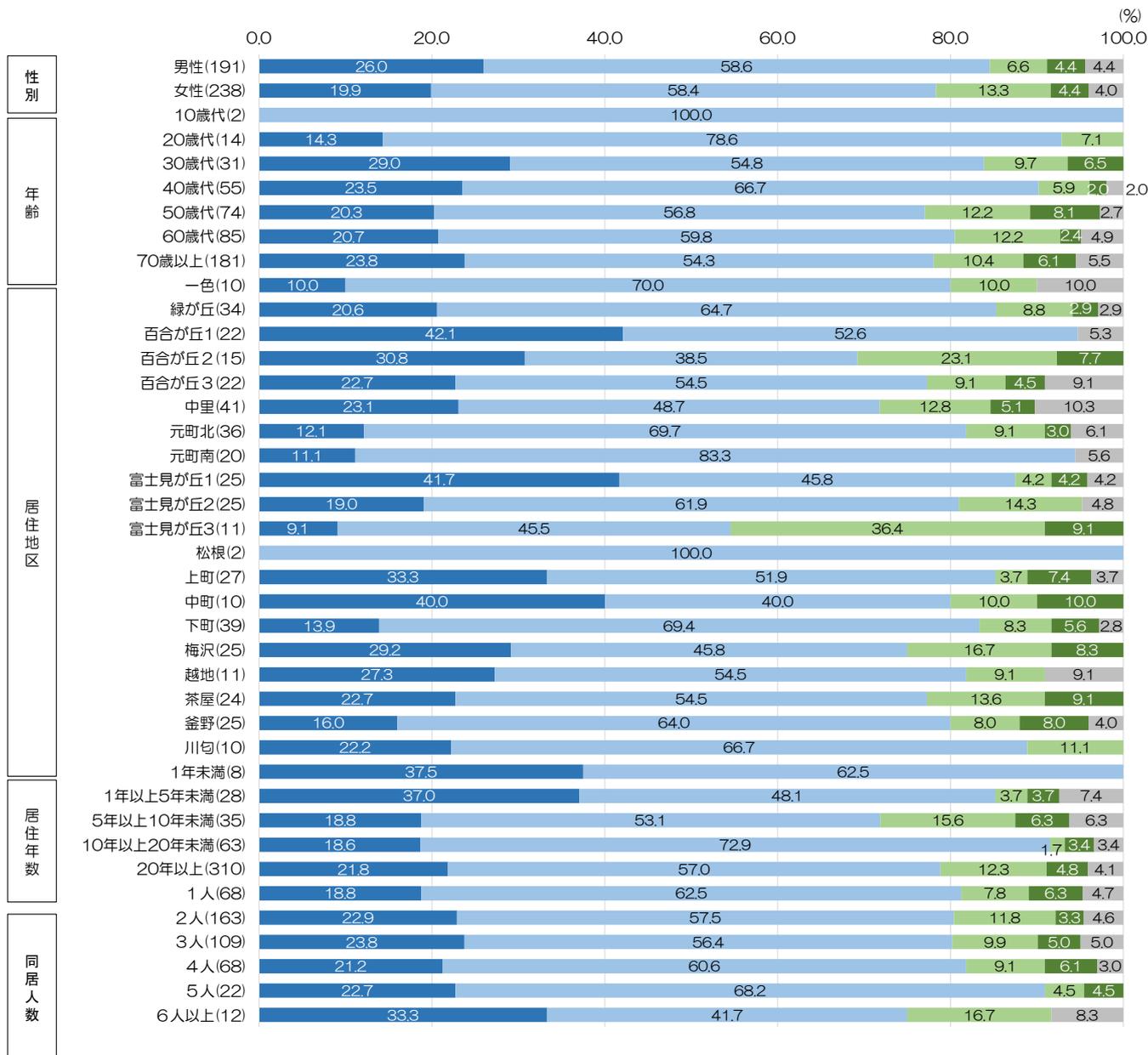
現在の周辺環境への満足度は、「満足している」が 21.0%、「どちらかと言えば、満足している」が 54.8%であり、8 割近くの回答者が満足している。

一方、「どちらかと言えば、満足していない」「満足していない」とあまり満足していない回答者は合計で 13.9%となっている。



属性別の回答結果では、以下の傾向となっている。

- 性別では、女性よりも男性の方がやや満足度が高い。
- 年齢別では、30 歳代、40 歳代の満足しているとの回答が比較的多い。50 歳代以上は満足度も比較的高いものの、満足していないという回答も多くなっている。10 歳代、20 歳代の若者層はどちらかと言えば満足しているという回答が多いが、満足していないという回答は比較的少ない。
- 居住地別では、富士見が丘 1、百合が丘 1、中里が比較的満足度が高くなっている。満足度が比較的低い地区は富士見が丘 3となっている。
- 居住年数は 5 年未満の比較的新しい居住層の満足度が高く、5 年以上の居住層は満足している回答者もいる一方で、満足していない回答者も一定数存在している。
- 同居人数別では、大きな差異はなかったが、6 人以上の家族では満足度が高くなっている。

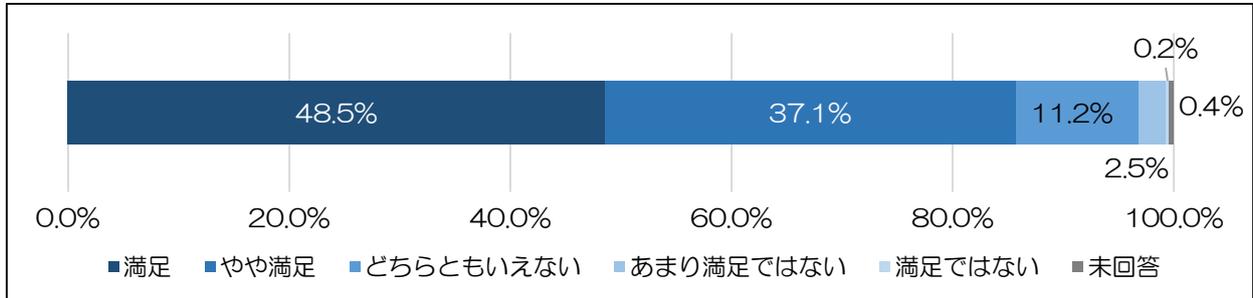


■満足している ■どちらかと言えば、満足している ■どちらかと言えば、満足していない ■満足していない ■どちらともいえない

問7. 各環境項目に対する満足度

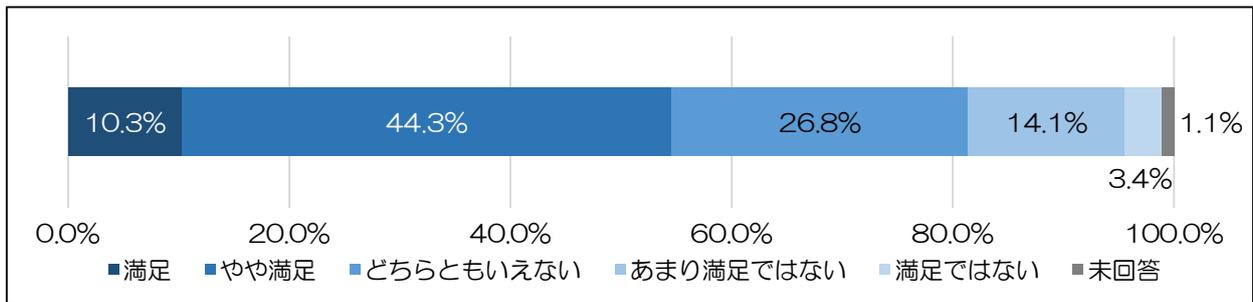
● 空気のきれいさ

「満足 (48.5%)」、「やや満足 (37.1%)」が 85.6%を占めており、多くの回答者が空気のきれいさに満足している傾向となっている。



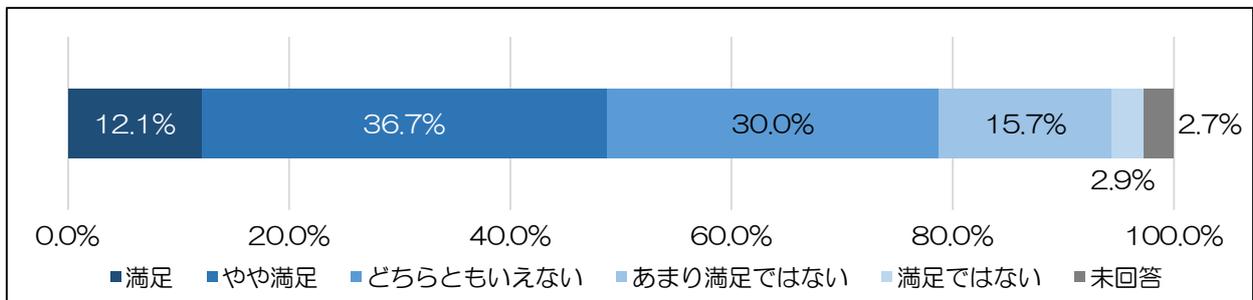
● 川や水路等における水のきれいさ

「満足 (10.3%)」、「やや満足 (44.3%)」が 54.6%と半数以上が満足している。自由意見では、主に葛川の氾濫、水質、雑草に関する意見が多く見られた。



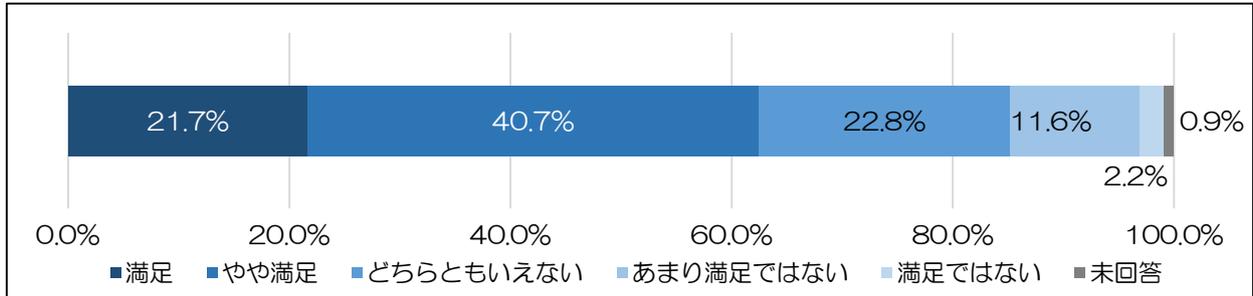
● 海や海岸のきれいさ

「満足 (12.1%)」、「やや満足 (36.7%)」が 48.8%となっており、満足度と不満足度が概ね半数づつとなっている。川や水路のきれいさと比較して満足度は低くなっている。自由意見では、梅沢海岸の養浜や流れ着いたごみに関する意見が多く見られた。



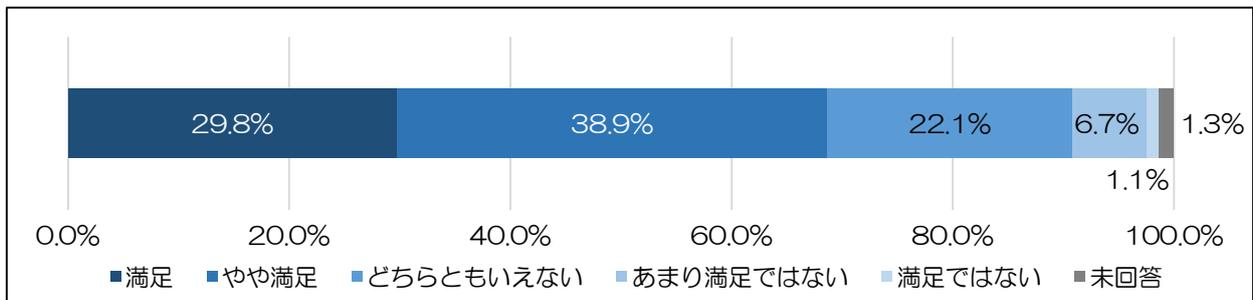
- 緑の環境（丘陵地、緑地、果樹園、街路樹、公園等）の豊かさ

「満足（21.7%）」、「やや満足（40.7%）」が62.4%と半数以上が満足している。自由意見では「緑豊かな二宮が大好き」、「自然を残したまま開発をしてほしい」といった声があった他、東大果樹園跡地、吾妻山、公園の遊具などの更なる整備を求める意見もあった。



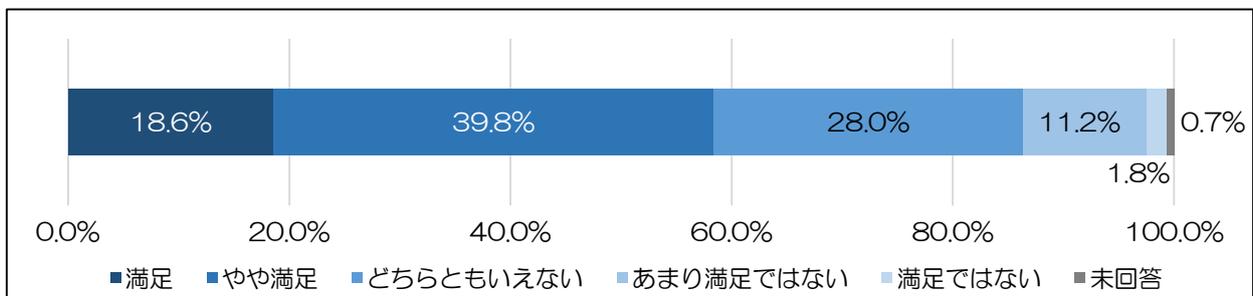
- 野鳥や昆虫等の生息する自然の豊かさ

「満足（29.8%）」、「やや満足（38.9%）」が68.7%と半数以上が満足している。



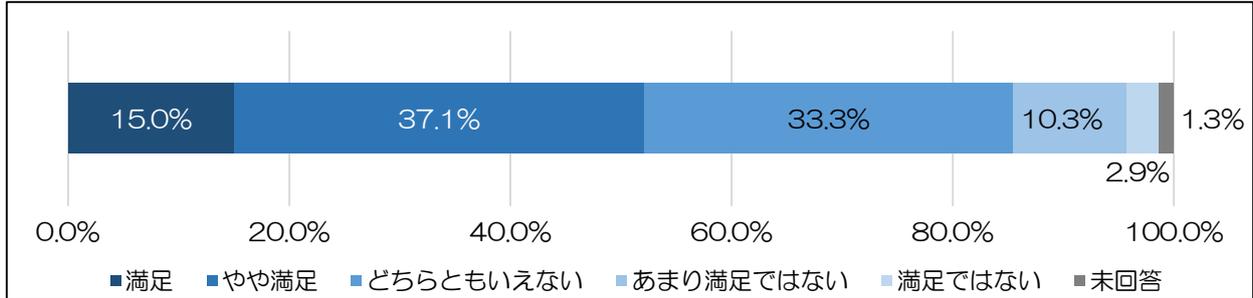
- 自然との親しみやすさ（身近な自然の保全、自然とふれあう場の整備等）

「満足（18.6%）」、「やや満足（39.8%）」が58.4%と半数以上が満足している。自由意見には、自然の豊かさには満足しているものの、それを利用できる環境が少ないという指摘があった。特に、子どもたちが安全に自然と触れ合える環境の整備を求める声が多かった。



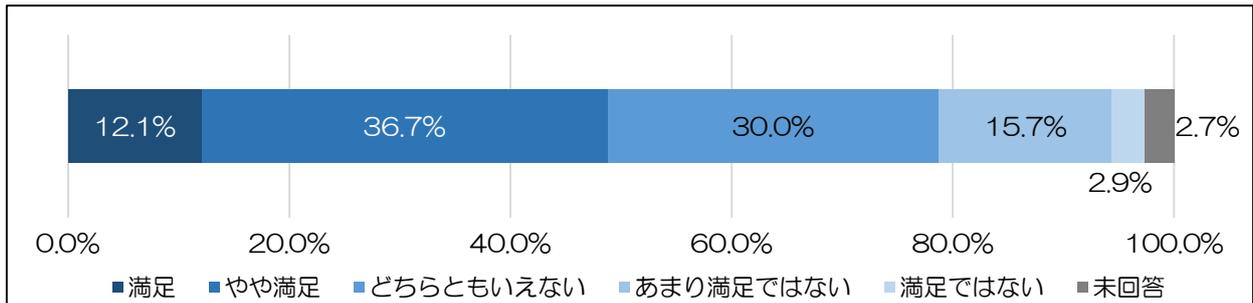
- まちなみや自然の景観の良さ

「満足（15.0%）」、「やや満足（37.1%）」が52.1%となっており、満足度と不満足度が概ね半数づつとなっている。吾妻山、公園、海岸など素晴らしい景観がある一方で、空き家、空き地、管理されていない雑草や樹木で景観が悪化しているという声も挙げられた。



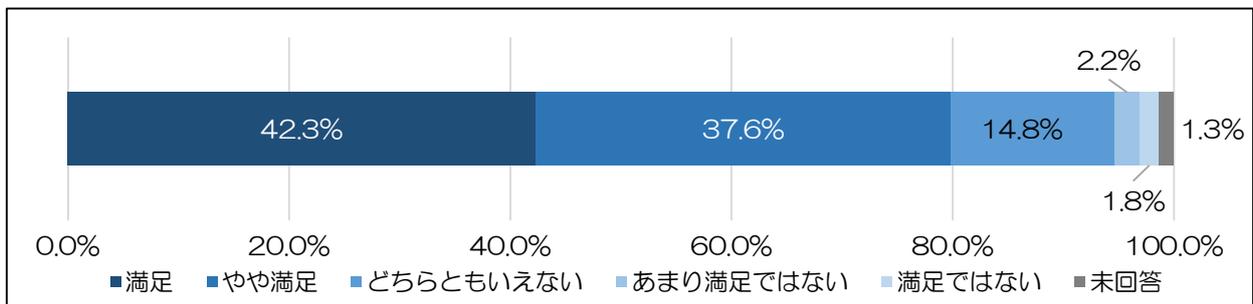
- 遠景の見晴らしの良さ（良い眺望場所の存在等）

「満足（12.1%）」、「やや満足（36.7%）」が48.8%となっており、満足度と不満足度が概ね半数づつとなっている。



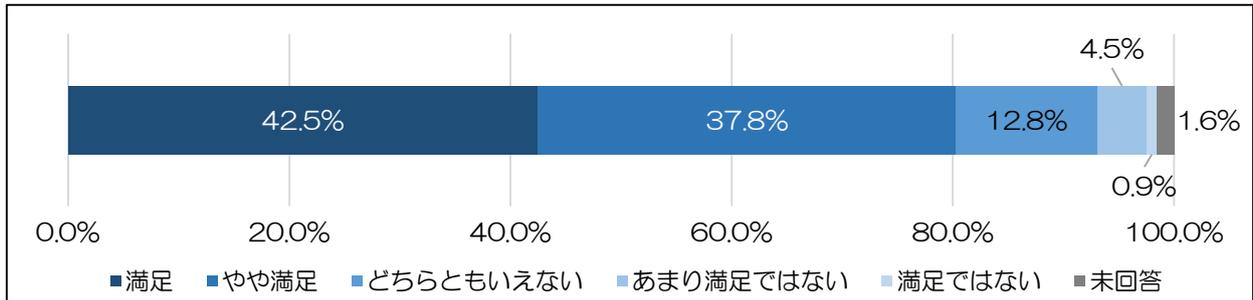
- 高い建物等による日照阻害のなさ

「満足（42.3%）」、「やや満足（37.6%）」が79.9%となっており、満足度が高くなっている。



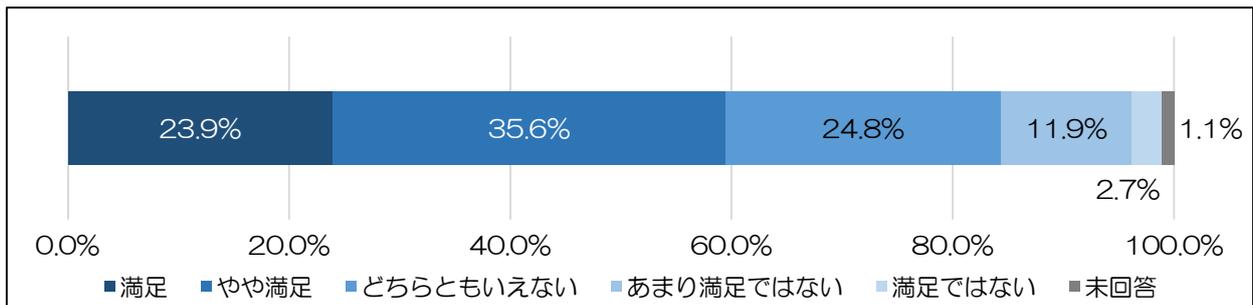
● 風通しの良さ（通風・換気）

「満足（42.5%）」、「やや満足（37.8%）」が80.3%となっており、満足度が高くなっている。



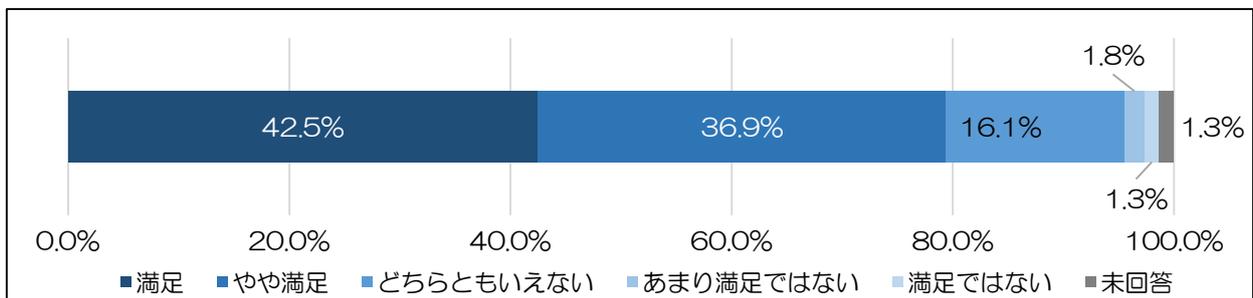
● 車に起因する公害（騒音・大気汚染等）のなさ

「満足（23.9%）」、「やや満足（35.6%）」が59.5%となっており、満足度が高くなっている。ただし、自由意見では、国道1号や西湘バイパス、県道秦野線での騒音や排気ガスの対策をしてほしいという意見が散見された。



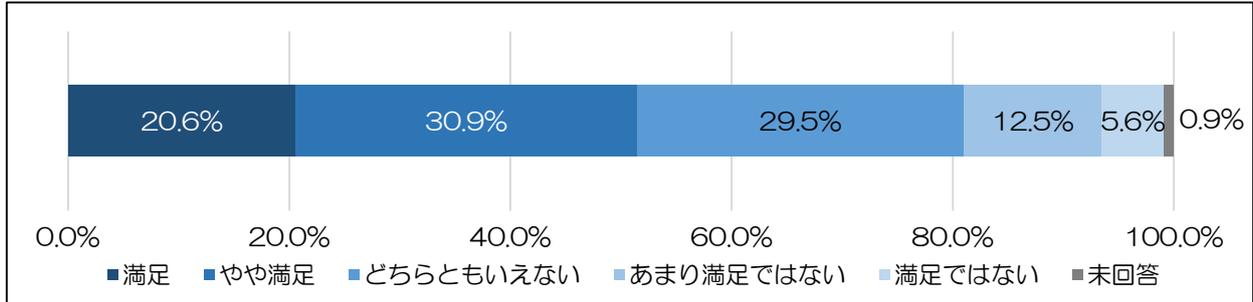
● 工場等の事業所に起因する公害（騒音・大気汚染等）のなさ

「満足（42.5%）」、「やや満足（36.9%）」が79.4%となっており、満足度が高くなっている。



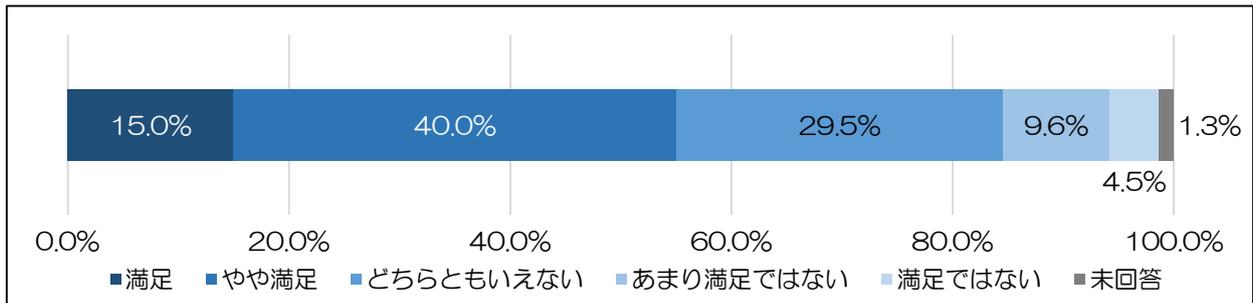
- 台風・大雨・高波などの風水害の危険性のなさ

「満足 (20.6%)」、「やや満足 (30.9%)」と 51.5%となっており、満足と不満足が概ね半数ずつの結果となっている。自由意見では、大雨の際の河川や用水路の氾濫、台風や高潮などの防災への懸念について多く意見が寄せられた。



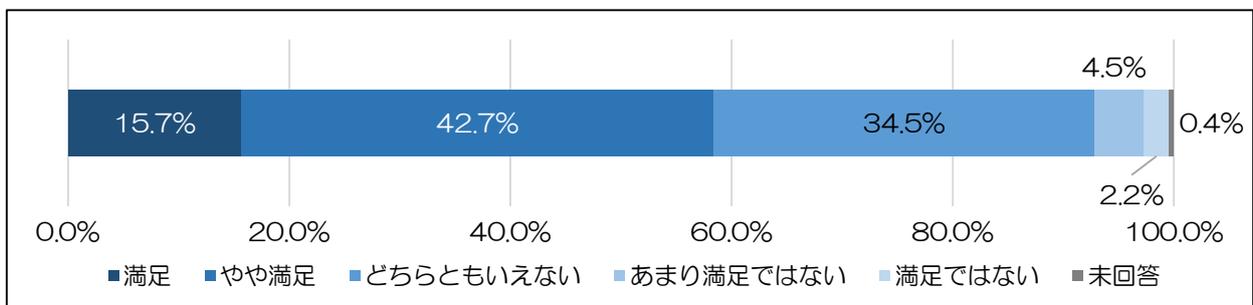
- 公共用地のきれいさ (たばこやごみのポイ捨て等)

「満足 (15.0%)」、「やや満足 (40.0%)」と 55.0%をとっており、満足度がやや高い傾向となっている。



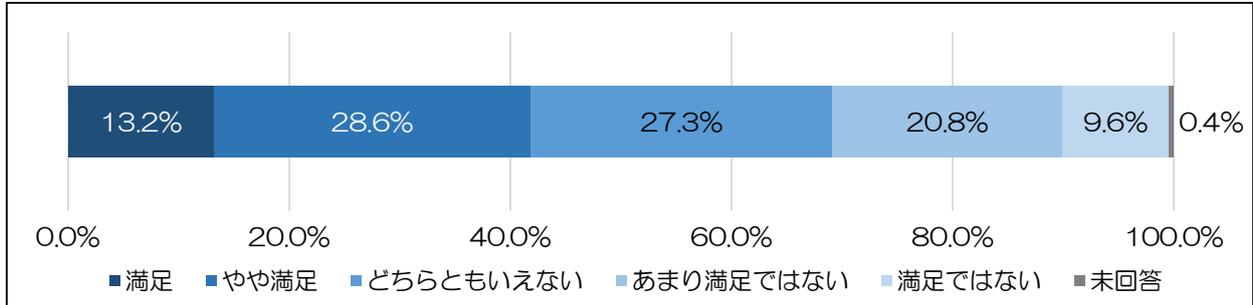
- ごみの減量やリサイクル等への取り組み

「満足 (15.7%)」、「やや満足 (42.7%)」が 58.4%となっており、満足度がやや高い傾向となっている。



- バス、鉄道等の公共交通機関の利用のしやすさ

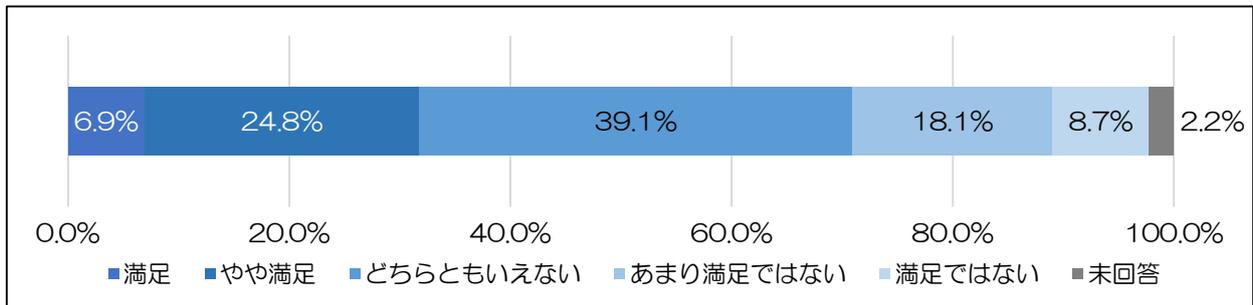
「満足 (13.2%)」、「やや満足 (28.6%)」が 41.8%となっており、満足度はあまり高くない結果となっている。自由意見では「公共交通機関の利用を推進している割にはバスが少ない」などの意見が寄せられた。



- 人と車にやさしい交通環境 (交通事故の危険性の回避、安全で快適な歩行環境等)

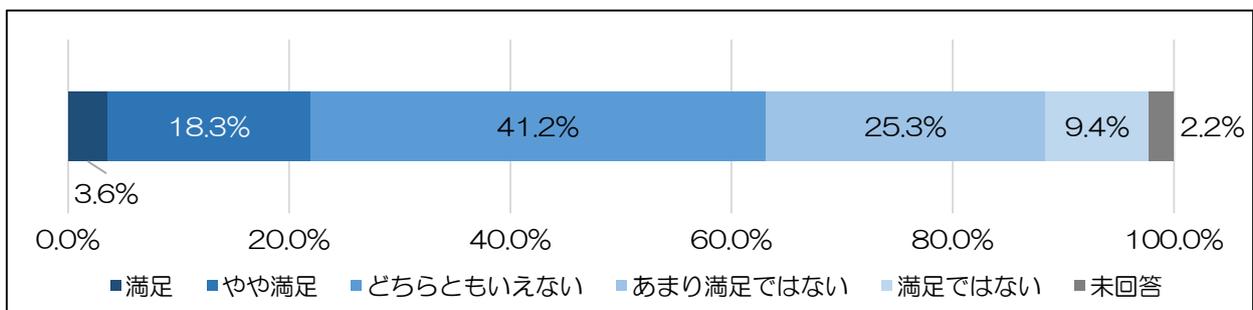
「満足 (6.9%)」、「やや満足 (24.8%)」が 31.7%となっており、満足度が低い結果となっている。ただし、「どちらともいえない」という回答が 39.1%で、「あまり満足ではない (18.1%)」、「満足ではない (8.7%)」は 26.8%であることから、決して不満足層が多いという訳ではない。

自由意見では、特に道路の整備に関する意見が多く、「ガタガタしていて走りにくい」「雨の際に水が流れ川のようになる」などの意見があった。



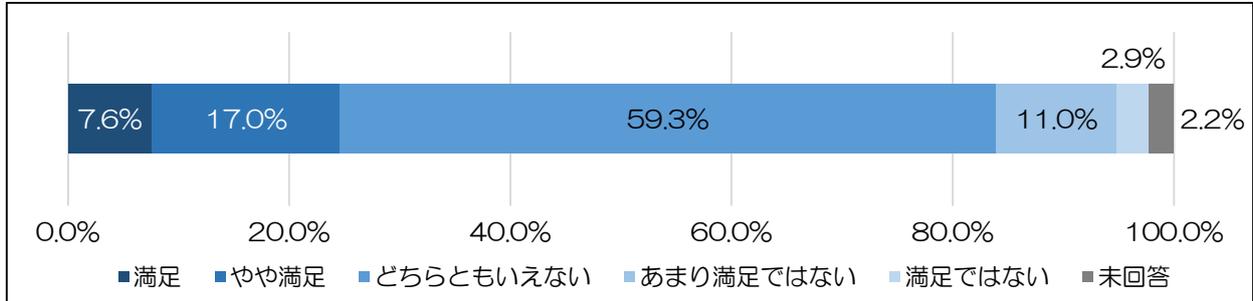
- 自転車の利用のしやすさ (駐輪場の使いやすさ、安全で快適に走行できる道路環境)

「満足 (3.6%)」、「やや満足 (18.3%)」が 21.9%となっており、満足度が低い結果となっている。



● 環境に関する学習・交流機会の得やすさ（自然観察会等の開催状況）

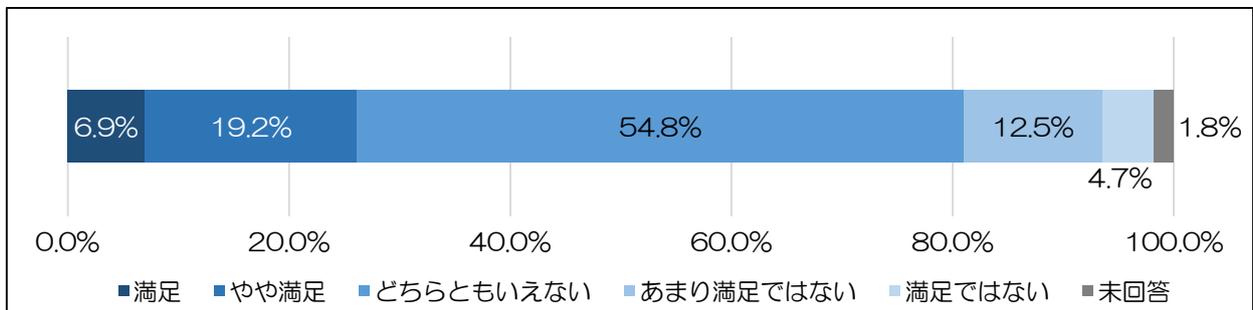
「満足（7.6%）」、「やや満足（17.0%）」が 24.6%となっており、満足度が低い結果となっている。ただし、「どちらともいえない」が 59.3%を超えており、学習や交流の機会に関わった回答者が少なかったものと推測される。



● 環境情報の得やすさ

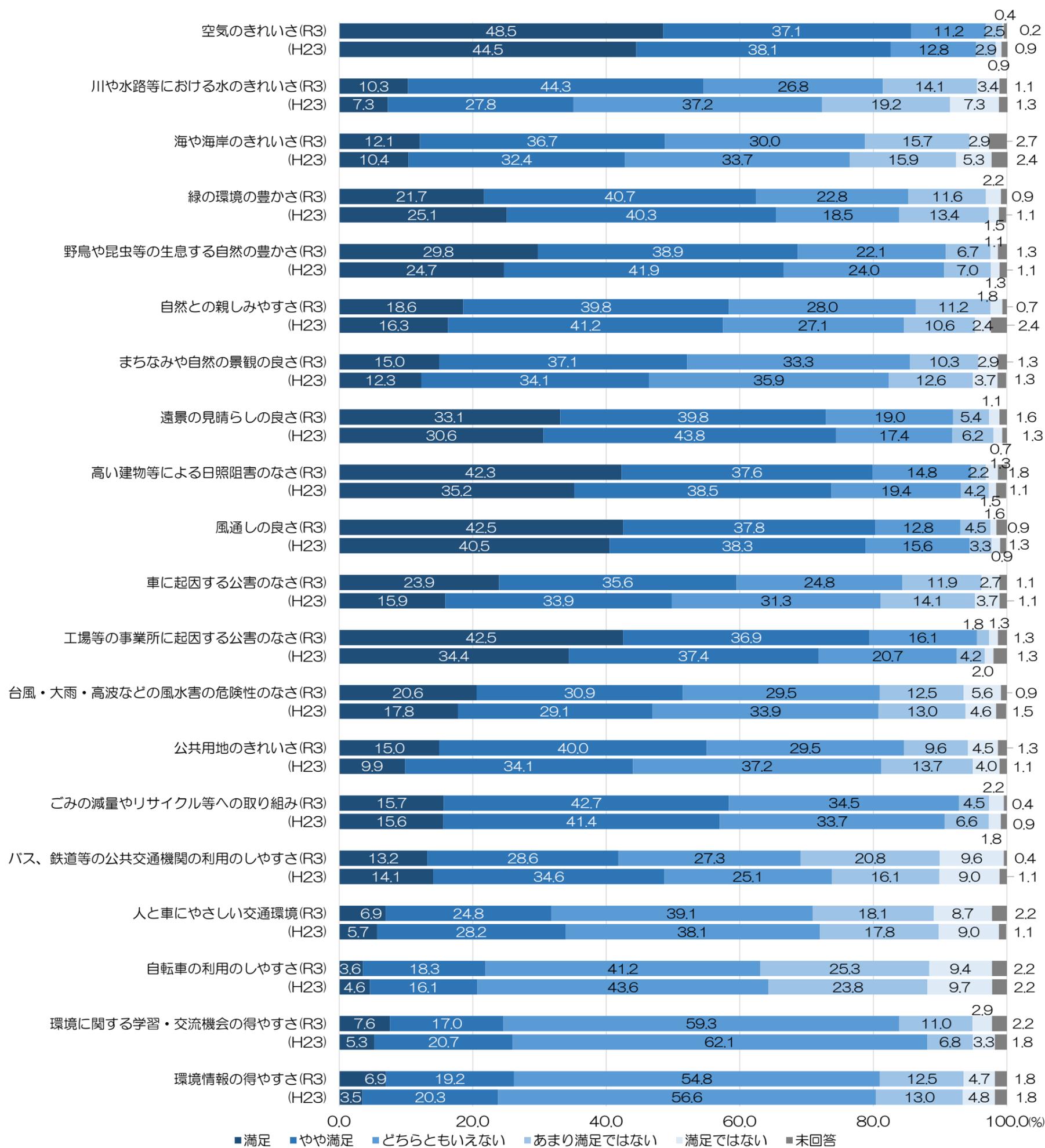
「満足（6.9%）」、「やや満足（19.2%）」が 26.1%となっており、満足度が低い結果となっている。ただし、「どちらともいえない」が 54.8%となっており、環境情報を得ようとする機会がなかった回答者が多かったものと推測される。

自由意見では「どのような政策が行われていて、どのような効果があったか分からない」、「しつこいほどPRした方が良い」といった意見が見られた。



【参考：H23 アンケートとの比較】

平成 23 年 7 月に実施したアンケート調査結果と比較すると、各項目とも概ね満足度の傾向は同じ程度か、本調査結果の方が満足度が高くなっている傾向が見られる。満足度が大きく低下している項目は見られない。



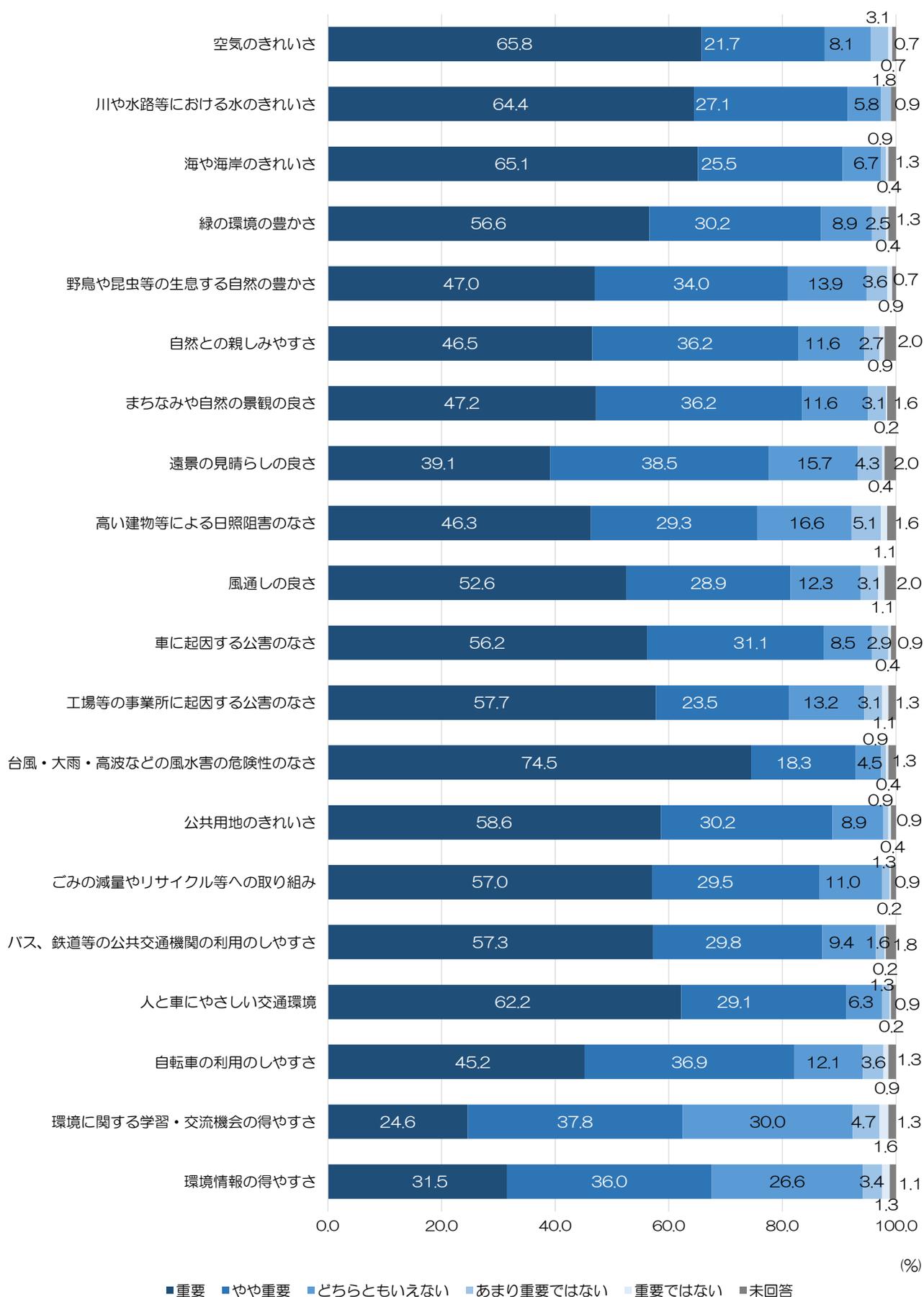
問 8. 二宮町の環境を良くするために重要と思われる項目

重要度が高い環境項目（「重要」、「やや重要」の割合を合計した値）を見ると、「台風・大雨・高波などの風水害の危険性のなさ」が92.8%と最も重要という回答が多くなっている。同項目は、自由意見でも対策を必要とする意見が多く挙げられている。

次いで、「川や水路等における水のきれいさ」を重要とする回答が多くなっている。次頁に示すグラフでは、同項目について「重要ではない」との回答は0%である。自由意見では葛川の保全に対する意見も多く、市民の関心が強い項目となっている。

なお、平成23年7月に実施したアンケート調査結果と比較すると、「空気のきれいさ」の順位は下がっているが、1位の「台風・大雨・高波などの風水害の危険性のなさ」、3位の「人と車にやさしい交通環境」は同様の順位となっている。

順位	項目	重要度	重要度		H23の順位
			重要	やや重要	
1	台風・大雨・高波などの風水害の危険性のなさ	92.8%	74.5%	18.3%	1
2	川や水路等における水のきれいさ	91.5%	64.4%	27.1%	(3)
3	人と車にやさしい交通環境	91.3%	62.2%	29.1%	(3)
4	海や海岸のきれいさ	90.6%	65.1%	25.5%	5
5	公共用地のきれいさ	88.8%	58.6%	30.2%	(7)
6	バス、鉄道等の公共交通機関の利用のしやすさ	87.1%	57.3%	29.8%	12
7	空気のきれいさ	87.6%	65.8%	21.7%	2
8	車に起因する公害のなさ	87.2%	56.2%	31.1%	10
9	緑の環境の豊かさ	86.8%	56.6%	30.2%	6
10	ごみの減量やリサイクル等への取り組み	86.5%	57.0%	29.5%	(7)
11	まちなみや自然の景観の良さ	83.4%	47.2%	36.2%	(7)
12	自然との親しみやすさ	82.7%	46.5%	36.2%	15
13	自転車の利用のしやすさ	82.1%	45.2%	36.9%	(13)
14	風通しの良さ	81.4%	52.6%	28.9%	11
15	工場等の事業所に起因する公害のなさ	81.0%	57.7%	23.5%	(7)
16	野鳥や昆虫等の生息する自然の豊かさ	81.0%	47.0%	34.0%	16
17	遠景の見晴らしの良さ	77.5%	39.1%	38.5%	18
18	高い建物等による日照阻害のなさ	75.6%	46.3%	29.3%	(13)
19	環境情報の得やすさ	67.5%	31.5%	36.0%	19
20	環境に関する学習・交流機会の得やすさ	62.8%	24.6%	37.8%	20



問9. 町内で最も保全すべき環境

最も保全すべき環境としては、吾妻山や葛川、海岸の環境を保全すべきという意見が多く見られた。なお、平成23年7月に実施したアンケート調査結果との傾向は概ね変わっていない。

きれいな吾妻山
せめて吾妻山の自然だけは。
吾妻山×20
吾妻山、一色地区山間部の整備
吾妻山、果樹公園一帯の緑
吾妻山、花の丘の豊かな緑
吾妻山、花の丘公園の管理、整備
吾妻山、里山の自然
吾妻山からの展望
吾妻山とせせらぎ公園とくず川と海の保全
吾妻山のゴミの持ち帰りを永久に実施してほしい。
吾妻山の活用。すべての人が楽に頂上に行ける方法。
吾妻山の景観×4
吾妻山の自然×10
吾妻山の自然、花、野鳥、人にやさしい山づくりをしてほしい
吾妻山の自然や景観
吾妻山の自然環境
吾妻山の自然環境の持続
吾妻山の自然豊か
吾妻山の樹木
吾妻山の整備×3
吾妻山の展望
吾妻山の登山道以外の整備
吾妻山の保全×4
吾妻山の豊かな自然
吾妻山の豊かな緑×4
吾妻山の豊かな緑と水源
吾妻山の緑×3
吾妻山の緑の保全。
吾妻山の緑や草花
吾妻山への観光促進に耐える環境
吾妻山を中心に丘陵の緑
吾妻山公園×5
吾妻山公園の資源活用と整備
吾妻山公園の豊かな緑
吾妻山公園の緑

吾妻山公園をはじめとする緑
吾妻山公園内の樹林、草花。病気や外来種、汚染から守るべし。
吾妻山周辺の自然
吾妻山周辺の自然環境
吾妻山周辺の歩道の整備、峠公園の緑
吾妻山全域
吾妻山全体
山
元町北地区の閑静な山、自然
海×3
海、海岸の保全×2
海から絶妙の距離にある吾妻山などの“小山群”の緑
海と山
海についての取り組みが見えてこない
海の豊かさ
海や海岸
海岸×3
海岸（西湘バイパス）の安全
海岸、ビーチ立ち入り
海岸、川のきれいさ
海岸。人が集まるような憩いの場所に
海岸と吾妻山
海岸のきれいさ
海岸のきれいな町
海岸の環境
海岸の砂浜×3
海岸の砂浜、保全
海岸の砂浜がこれ以上減少しない事
海岸の自然
海岸の整備×2
海岸の整備、砂浜の復元、海水浴場。
海岸の土手
海岸の美化×2
海岸沿いの保全
海岸周りのきれいさ。吾妻山を中心とした緑。
海岸線のみどり 樹木が少なくなっているのが残念
海岸線沿いの景観
静かな海
魚のとれる二宮の海
相模湾の海
袖ヶ浦海岸の砂浜の整備

二宮の海岸
二宮海岸の砂浜の復活
二宮海岸の砂浜をとり戻す事
二宮海岸の保全
二宮町の海岸、吾妻山の整備
梅沢海岸の波音
豊かな海岸線
梅沢地区の美しい海岸と海
せせらぎ公園×2
せせらぎ公園のみどり
ほたるのいるせせらぎ公園
公園（誰もが利用しやすく、緑豊かできれいであること。にぎわっていて安瀬園な公園であること）
公園など
公園の整備×5
公園用地のきれいさ
花の丘公園にあった水辺、湿地の復元
花の丘周辺の自然
果樹園の自然はとても心を豊かにします。いつまでも残して！秋になると彼岸花が咲き美しい。
果樹公園、ラディアンの環境（緑）
果樹公園の豊かな植物
気軽に行ける自然豊かな明るい公園
川匂地区に1つでも公園をつくってほしい
東大果樹園 緑地整備と自然保護、ドックランの整備(有料化良い)
東大果樹園跡地×2
東大果樹園跡地において、子どもも大人も自然の中で学び遊べる環境
東大果樹園跡地の緑
東大跡地の公園
東大跡地の保全
現存の公園
峠公園などの自然
峠公園の木々の保存、管理、育成
峠公園上部の民有地の環境。全町のナラ枯れ。
百合ヶ丘地区の公園
百合ヶ丘地区の公園で荒野のような場所がある。
百合ヶ丘地区の自然の保持
二宮町全体の公園の整備（緑がきれい）
梅沢地区に緑の多い広い公園
葛川の整備、保存
葛川の緑
葛川を昔に戻す
葛川沿いの桜

葛川沿いの桜並木
葛川沿いの桜並木（老木化に備えて若木の用意を）
葛川環境保全
葛川清掃の状況、およびプラスチックゴミなどの不法投棄防止推進
川、用水路
川と海
川などの水のきれいさ
川の氾濫の防止
川の両岸を開発し、魚が釣れるようにする。
川や水路等における水のきれいさ
川沿いの緑
ラディアンの周りの自然の美しさ
ラディアン周辺的环境
ラディアン周辺の整備。市民が集える緑豊かな環境。
ラディアン周辺の緑の保全の整備
一色小学校の山ゆりのようなことはできないのかな？
一色小学校の竹林
駅周辺以外の緑の存在
下町の自然との親しみやすさ
自然
自然にある樹木の保全
自然に近い海岸
自然の保護
自然の豊かさ×2
自然環境（町全域）の保全・整備
自然環境保全と歩道整備による安全対策
全地区の豊かな緑
中里地区の里山の緑
町全体の自然環境×2
町全体の緑地面積
町内の自然
里山×2
里山の再生
里山の保護、育成
緑が豊か。
緑が豊かで、バスをもう少し増やしてほしい。もう少し小さな乗り物でよい。
緑ヶ丘のような町並み環境
緑ヶ丘地区の街路樹
緑と静かな環境
緑の環境
緑の環境の整備維持(手入れが不十分)

緑を大切に
緑地
緑地、公園、豊かな緑のある空き地（峠公園の横）
豊かな自然
豊かな緑との共生
豊かな緑と美しい海岸
夜見える星空（光害の少なさ。おそらく大磯駅以東ではよく見えないと思います。）都心からの移住者へ
空気、水および海岸のきれいな状態
空気がきれい。また遠くまで景色がはっきりと見える。
空気がきれいなこと×3
空気のきれいな場所
公害のない空気のきれいさ
子どもからお年寄りまで住みやすいまち
子どもが安全に遊べる緑豊かな場所
子育てしやすい環境
子供たちの過ごす所全て
子供を育てやすい環境
若者が来てくれそうな、また、子どもを育てやすく楽しめる環境
公共交通機関の利用しやすさ
公共交通機関の利用のしかた
公共用地、特に道路のきれいさ
公共用地のきれいさ
公有地の緑地
高い建物等による阻害のなさ
坂の多さ。高齢化から公共交通の確保が最も重要だと思います。
坂道が多すぎて不便
1号線、秦野線沿いの緑の整備
ごみの散乱
スマホしながら歩行、自動車の禁止
バリアフリー化
ベンチが欲しい（特に木陰が欲しい）
安全生活（水・道路・緑など）
河川、里山、海岸
会話など心の通じ合い
樹木、建築構造物を含む景観
集合住宅を減らす
住み始めて間もないのでわからない
住宅の開発地域
住宅地における日影規制。建築基準。
住宅地に隣接する緑地
少なくとも現存する管理緑地の保全

静けさ
皆が通しやすい安全・安心な役場、学校などなど
開発の中止
街並みや自然景観
街路樹の整備。かなりの頻度で木が枯れている。
総合病院をつくってほしい
騒音防止用のアスファルト保熱の少ないもの
台風大雨などの風水害の危険性
地区による重要性より、元来豊かな町全体のバランス。
中道の海寄の別荘地の豊かな緑
中里地区 人と車にやさしい交通環境
町の風水害
通学路の保全（釜野地区）
電柱地中化
道路の整備
道路整備環境
二宮駅で出る交通の便利さ
二宮駅の整備
二宮駅北口のUターン地の朝の混雑時の出口右折禁止の徹底
二宮町の象徴的な施設の維持
買い物難民
百合が丘 3 から一色地区にある葛川の桜並木
風水害、航空災害対策
風水害が少ないこと。
風水害の危険性のなさ×2
歩道の整備。特に駅周辺
隣近所との交流
釜野・川匂地区の畑の多さ。景観の保護のために。
幹線道路以外の舗装が悪い所が多い
空き家、空き地対策
空き住宅、空き地の保全

問 10. 町内で最も改善すべき環境

最も改善すべき環境としては、道路環境や公共交通の改善に関する意見が多く見られた。その他には、収集場のごみをカラスが荒らすことや、葛川や海岸の環境改善（さらにきれいに、利用できるようにしてほしい）などの意見も多く見られた。

なお、平成 23 年 7 月に実施したアンケート調査結果との傾向は概ね変わっていない。

海での利用法等、花火、BBQ がうるさい
海のごみ
海の水が汚い
海や砂浜の汚れ
海岸
海岸が汚い
海岸が狭い
海岸ぞいの宅地の増設減らす
海岸にゴミが多い。吾妻山の森林の整備。葛川の保全。
海岸に出る道が不便
海岸の（砂浜の）整備
海岸のゴミ×2
海岸のたばこ、空き缶等のポイ捨て
海岸の砂浜が減少しているので改善してほしい。
海岸の砂浜の浸食
海岸の整備×3
海岸の美化と砂浜の復元
海岸をきれいに
海岸部の貧弱さ（砂浜の後退）
海側の河川のにおい。葛川？
海辺周辺
二宮駅。特に北口。北口商店街の街並みづくり。南口から海岸に通じる道路、導線がなく残念！
二宮駅北口西側の整備
二宮駅北口通り。車道、歩道の区別なく危険。
二宮海岸
二宮海岸の整備
二宮海岸沿いの宅地の乱開発
二宮高校裏にやたらタクシーや宅配車等、車がとまっている。
二宮町、梅沢海岸の砂浜と利用
梅沢海岸
梅沢海岸の砂浜

梅沢海岸の車両進入禁止すべき
梅沢海岸の防波堤の危険防止
柚ヶ浦の海水浴場復活
くず川のゴミ
すべての川の水質
河が汚い。
河や道路の整備
河川の整備
河川の土石、樹木、草の整備
河川の氾濫が起きないように護岸の整備
河川の流れ。汚い。特に中村川。
葛川×2
葛川（少しずつきれいになっているので、さらに改善させたい）
葛川、打越川の植物除去
葛川。だいぶきれいになりましたが、もう一歩！
葛川。草木の繁茂。大雨の時の急な増水。
葛川がきたない。×8
葛川のきれいさ
葛川のコイが多すぎる。在来種の魚ももっといてほしい。
葛川の引き続いての美化
葛川の個人が勝手に畑として使っているところ
葛川の洪水対策
葛川の水と桜
葛川の整備×2
葛川の生物
葛川の川辺に降りて水遊びができるようにしてほしい。
葛川の土手が草だらけで汚い。自衛隊の飛行機の低空飛行。
葛川の土手の木が大きすぎる
葛川をきれいに×2
葛川をきれいに整備する
葛川をより自然らしく流れがさわやかに
葛川沿いの草本の整備
葛川周辺の整備
葛川が少し汚い。
緑が丘中央公園の川の水が汚い
梅沢川を自然に戻す
川が汚い

川が汚い。土手に草が。
川に降りれるようにしてほしい
川のごみ汚染
川の側面の不法使用の中止
川の氾濫の防止
川の保全
川岸に降りることができない。
川野の赤のごみ、土手のクズ
いつも道路がデコボコ。自転車で端を通るので、車が来ると怖い。
どの道路・路地がどこもいつも綺麗であること。野良猫にとっても困っています。
安全で快適な歩行環境
安全な環境(自転車通路の整備。通学路の安全性確保)
安全な交通状況
ランブル坂の側溝をふさいだため大雨が降ると水が道にあふれ川のようになる。
自転車が走れる緑道整備 電動自転車等による歩道の危険
自転車の運転
自転車道の整備
自転車利用のしやすさ
車道や歩道の整備
秦野二宮線（県道）JR 東海道線のガード下の歩道が狭い
人と車に優しい交通整備
人と車の交通環境
通園、通学路の歩道
通学路の安全、ガードレールなど
藤田電機の裏道が汚い
道路が汚い
道路が狭い×2
道路に個人宅の木々が垂れ下がり危険。事故につながる。
道路のでこぼこ
道路の雑草
道路の整備×2
道路の整備、自転車専用道路など
道路の舗装状態が悪い（緑ヶ丘バス通り）
道路整備と交通の利便さ
道路側、歩道が汚い
歩行者の車に対する安全性（富士見ヶ丘 1 丁目への歩道整備）
歩道ががたがたで歩きにくい

歩道が無く危険なので作ってほしい
歩道の安全確保
歩道の整備（ガードレールの強化など）
歩道の整備、人にやさしい交通環境
歩道をもう少し広く、あるいは自転車専用道路をつくる
釜野地区の歩道のがたがた。
坂道の多さと公園の少なさ
町道の整備
南側と北側の往来のしやすさが欲しい
百合が丘のガードレールがない道
富士見ヶ丘3丁目から駅・ラディアンまでの歩道の整備
北口商店街の一方通行。（交互通行は歩行者が危険）
ランブル坂の崖
吾妻山など山の整備
吾妻山のナラ枯れが広がっている事
吾妻山の森林整備
吾妻山の整備（土砂崩れの阻止）
吾妻山の防災対策。葛川など河川の改修工事（浚渫など）
吾妻山は大人も子供も楽しめるようにしてほしい。遊具などが使えないため。
吾妻山をはじめとする山林管理
吾妻山南側の道路の舗装
吾妻山美しくない
里山、海岸
里山の再生
里山を残しておく
緑の環境（公園）の豊かさも改善してほしい。
豊かな緑。街路樹の植え付け
第一口道南側地区の緑地を増やす
先人たちが営々と造りあげ現在は放棄されている”山林田畑群”
森林伐採
住宅が増え、松林がなくなった
雨や台風の際の災害対策
雨量増加に伴う葛川の氾濫が心配
近年の大雨による河川の氾濫が多数あるため、甚大な被害が起こる前に早急に葛川の護岸整備を行う必要がある。
自然災害が起きないように開発と整備
近くにある山の崩壊、土砂崩れが心配

環境全体を守る為の防災の強化
水害の危険性
水路、水害など
側溝の陥没 下水が敷地内に入ってくる
台風・大雨風水害の危険性
台風の時の川の流れに気を遣う。
大雨・増水時の対策
大雨の時に泥が流れてくるため、汚くなる（果樹園付近）
大雨の土砂災害の阻止
崖崩れ、水害が起きない環境になってほしい
土砂災害警戒区域に対する事前の対策
土砂崩れや浸水、台風による高波の被害を防ぐ
天災時の対策整備
入川匂老人憩いの家の地震対策強化
風水害の危険性
公園
公園が少ない
公園の整備
公園の遊具が壊れている
公園や道路の草刈り ごみを散らかすカラス
花の丘公園にあった水辺、湿地の復元
子どもたちが安心して遊べる場所
子どもたちが安全で無事に登下校できる環境づくり
身近な公園などの環境
東大果樹園跡地
東大果樹園跡地の環境
東大果樹園跡地の整備
せせらぎ公園が利用しにくい
小児病院跡地にある公園に日差しを避けて憩う場がないこと
雑草が多い
手つかずの雑木、雑草、野良猫
樹木の伐採
傷側岸辺の雑草の整理
押切児童遊園地の草刈りと、滑り台が滑らないことの改善
富士見公園の雑草
緑は必要ですが、草刈りをお願いします。
団地周辺の雑草

駅に通じる梅沢・上町の線路側道路の雑草処理
駅周辺
駅周辺の活性化。南口が閑散としている。
駅周辺の道が狭く危険。子供の通学路がバス乗降場にあり、雨の日は特に危ないと思う
駅周辺や、駅舎など、自然を感じられるようなおしゃれな駅舎。
駅前の家並みの景観
駅前の整備。雨の時や人を待つための場所
駅前の敷地及び利用度
駅前整備
駅前道路の環境。ガードレールの整備など。
駅付近の道路の狭さ
駅北口の広場
商店街や駅の周り(特に北口)
街並みの整備。街路樹の植栽。
街路樹による道路の見た目の悪さ
街路樹の保全に欠けること
環境保全による安全なまちづくり
欠損した街路樹の植え直し 街路樹周りの雑草除去
自然環境については十分。多目的に利用できる芝を敷いたグラウンドが欲しい。
町が管理する樹木の整理。道路にはみ出している。
電柱の景観の悪さ。地下に埋める。駅周辺の道が狭い。
電柱地中化
空き家、空き地が良くない
空き家が多く、放置されている木が汚い。
空き家が放置されているのが良くない。
空き家になっている所への気配り
空き家による景観の悪化。
空き家の雑草、植木
空き家の整備
空き家の多さ(町で条例をつくり管理できるように)
空き家の問題
空家対策 恒例化社会になり二宮町も空家が増加している状況 汚いし見苦しい。 相続人等に連絡を行い対策を講じてほしい。
カラスに荒らされているゴミ収集場
カラスのゴミあさり
カラスのゴミ対策
ゴミステーション。カラスが多くて困る。

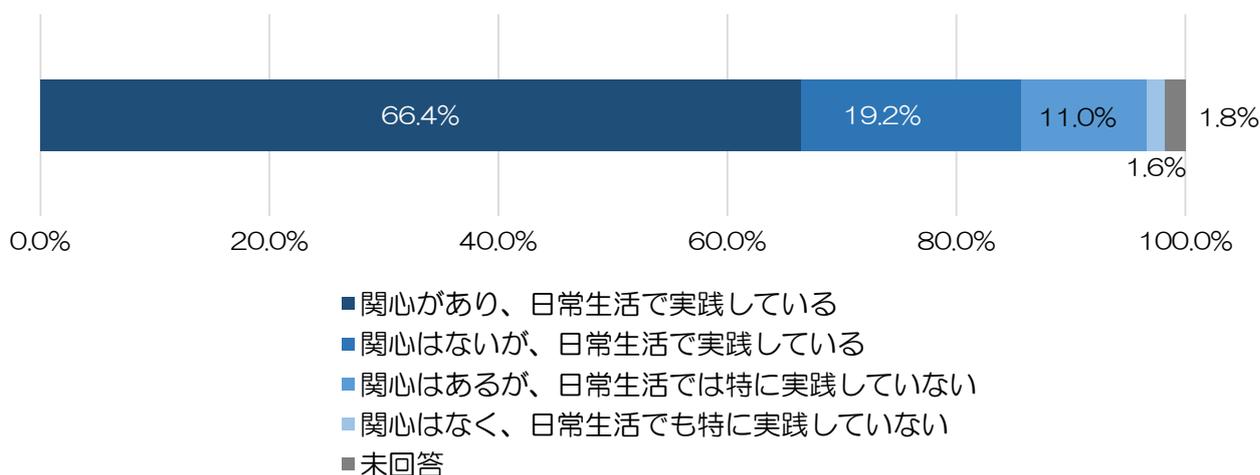
ゴミによる道路の汚染。カラス除けをつくってほしい。
ごみの収集時におけるカラスによるゴミの散乱
ゴミ収集所のカラス
ゴミ収集所のカラス対策(ネットだけでは不可能)
ゴミ収集場×2
ゴミ集積所の整備・カラス被害
ゴミ出し場所、歩道に網が広がったりカラスに荒らされたり
ちょっとしたゴミのポイ捨て
可燃ごみの出し方
各地区におけるゴミ捨て場
下水からの悪臭。空き地から伸びてくるつる草。壊れかけた小屋。
下水道の中に枯れ葉、泥、大雨の時心配。
よその家排水溝が臭い時がある。
排水路が臭い
用水路の保全
上下水道代が高すぎる。浄化槽の設置も選択することができない。
交通の便
交通の便の悪さ
交通環境（駅までのバスの本数が少なすぎる。駐輪場も少ない。お店が少ない）
交通関連の道路整備
交通事故の危険の回避
交通弱者に交通機関を
公共機関のアクセスの悪さ(特に役場)
公共交通が少ない。自家用車などがないと生活がしにくい
公共施設の周りの環境整備
公的機関や設備の散在→集約化して欲しい
バスの本数
県道（二宮-秦野線）の信号待ち渋滞の改善
高齢者の移動のしやすさ
一色旧道のバス停の安全性
西湘バイパスの騒音
西湘バイパスの騒音防止と車の排ガス阻止
新幹線高架周辺の騒音、振動対策の推進
畑や墓地で枯れ葉などを早朝から燃やしている人たち
歩きタバコのポイ捨て
歩きタバコはNO
歩きタバコをしている人が多い。

老人の交通マナー。川に生息するコイ。
葛川のゴミ。道路のポイ捨て
川があまりきれいと思えない。ごみ、たばこが落ちている。
ペットの排せつ物の始末
持ち主の山のからの落ち葉、枯れ葉に苦労している。
野良猫が多く、フンやノミに悩まされている。
並列自転車乗り禁止。高校生。
カフェが少ない
ナラ枯れ（ブナ科樹木葉周病）の蔓延防止（ここ数年で急速に蔓延しており、山全体が枯れるのも間近です）
もっと人が外に出て交流できる場が欲しい。
家の断熱(温暖化防止)
環境の見た目ではなく、意識を高める取り組み。
企業誘致
国1号二宮交差点の渋滞問題。吾妻山公園の整備(障害者の利用)
産業地区を含む看板の美観
住み始めて間もないのでわからない
住宅街のイメージの統一、街路樹、屋根色、壁色
住宅地の車の往来が多い
商業施設の拡充
商店街、打越川
障害者でも楽に行ける役場
情報伝達の利便性
人口減少に対するための環境づくり
人口増目的の近隣の人が利用したくなる有料施設。
町の職員
町役場の場所が悪く利用しづらい
電気、エネルギー
梅沢地区にスーパーマーケットが欲しい。徒歩圏内
保育所や学校など
防犯灯のまぶしさ低減
①駅周辺のがけくずれ ②二宮町内 川周辺 雨量が多いとき、道路冠水 ③一色地区 道路→歩道がせまくガタガタしている
特にありません 葛川は最近きれいになりつつあるので

問 11. ごみの減量や省エネルギーへの関心

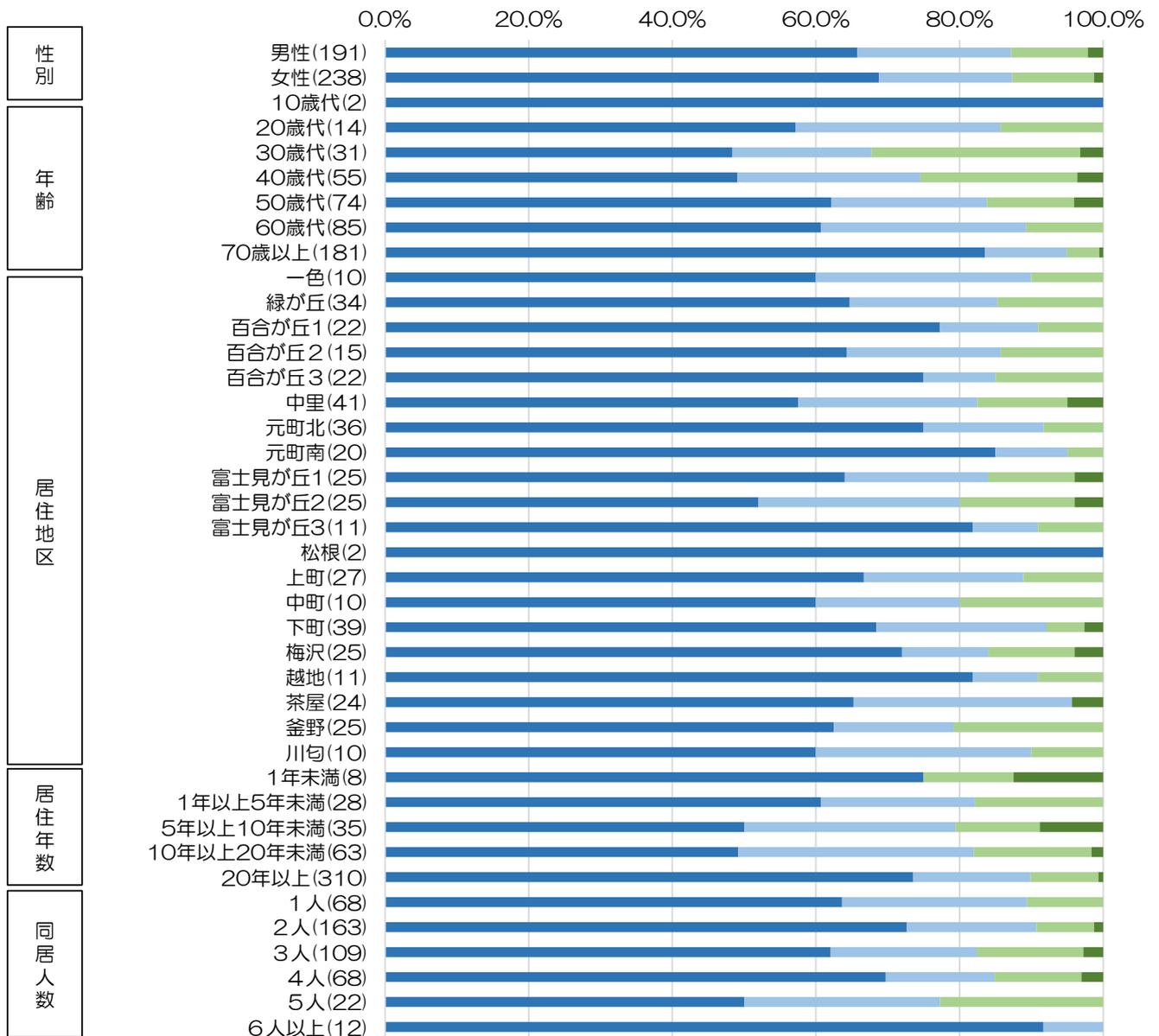
ごみの減量や省エネルギーへの関心は高く、実践している、実践していないを問わなければ 77.4%が関心があると回答している。

関心がなくとも、ごみの減量や省エネルギーのための行動をしているという回答もあり、何らかの行動を実践している回答者は 85.6%となっている。関心もなく実践もしていない人は 1.6%となっている。これらのことから、ごみ減量、省エネルギー行動は概ね定着していることが伺える。



属性別の回答結果では、以下の傾向となっている。

- 性別では、男性、女性の評価に概ね差異はなかったが、女性がやや関心があり実践しているという回答が多くなっている。
- 年齢別では、70 歳以上について実践している回答者が多く、次いで 60 歳代、20 歳代の実践者が多くなっている。30 歳代、40 歳代の実践者は比較的少なくなっている。10 歳代はすべて実践している回答となっているが、回答者数が少ないことに留意する必要がある。
- 居住地区別では、元町南、富士見が丘 3、越地での実践者が多い。松根はすべて実践している回答となっているが、回答者数が少ないことに留意する必要がある。
- 居住年数別では、20 年以上にわたり二宮町に居住している層での実績者が比較的多くなっている。
- 同居人数別では、回答にばらつきがみられるが、6 人以上の家族の回答者はすべてが実践しているとの回答となっている。

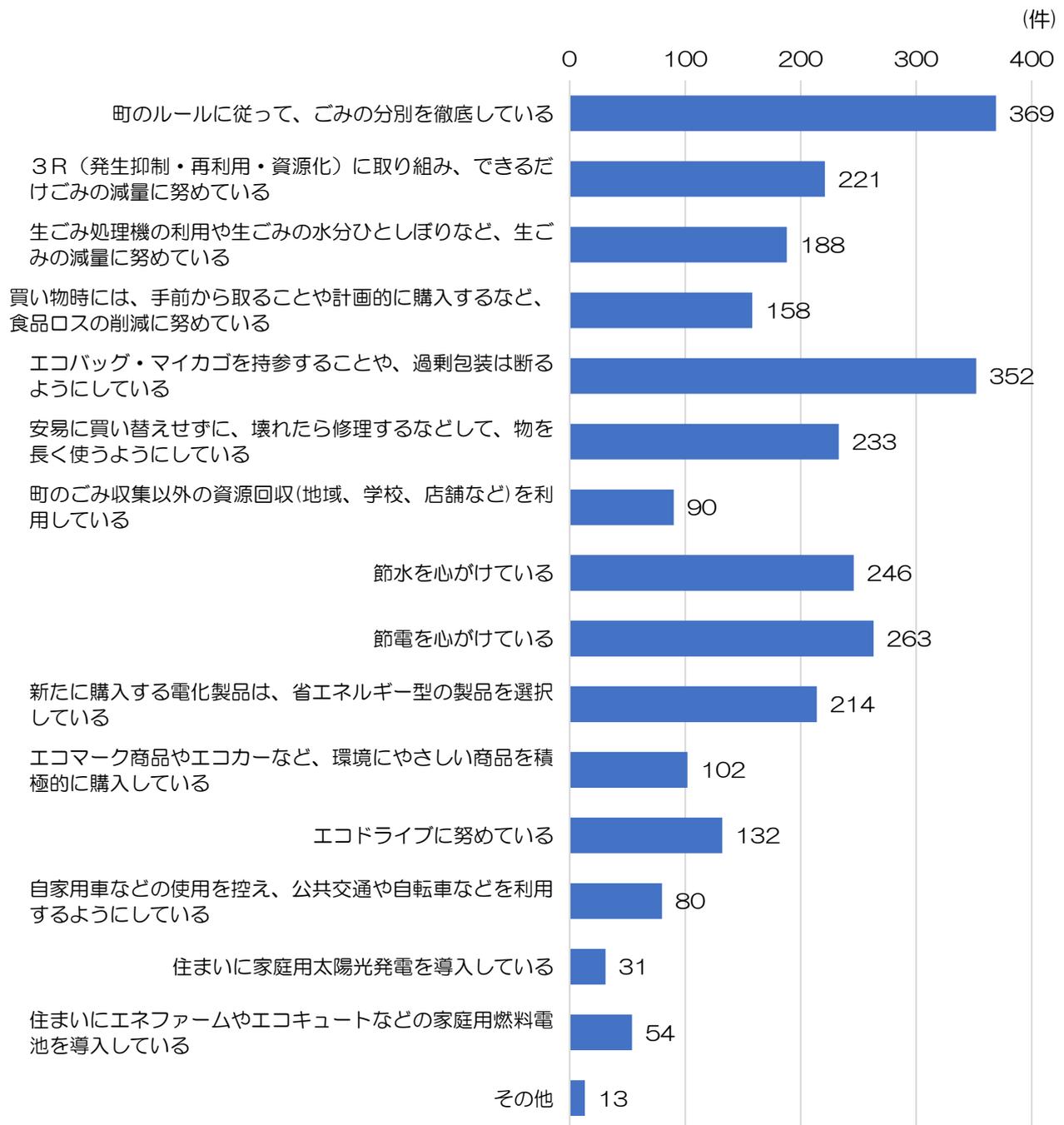


- 関心があり、日常生活で実践している
- 関心はないが、日常生活で実践している
- 関心はあるが、日常生活では特に実践していない
- 関心はなく、日常生活でも特に実践していない

問 12. ごみの減量や省エネルギーについて、どのような取組を行っているか

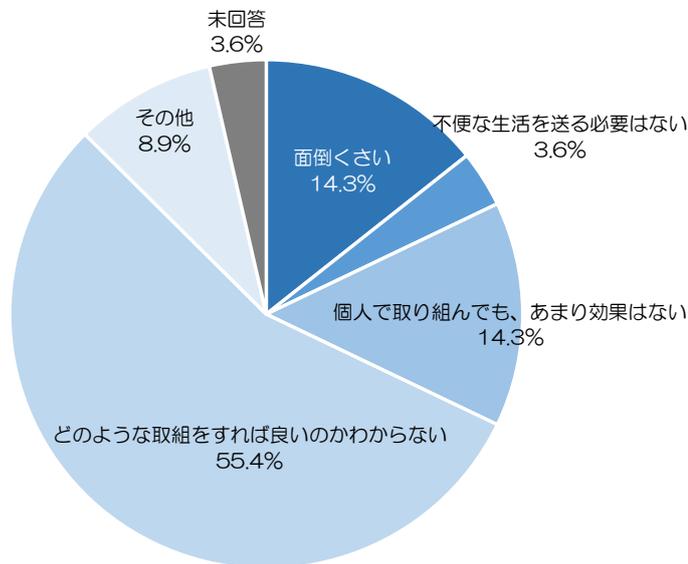
(あてはまるものすべてに回答)

実際に取り組んでいる内容としては、ごみの分別の徹底やエコバッグ・マイカゴの持参が多くなっている。次いで、節電、節水、3Rの取り組みなどが多く実践されている。その他として「生ごみをたい肥化する」、「料理を一度にたくさん作り電気やガスを節約している」、「冷房の使用を控える」、「ごみをすぐに捨てず人に譲ったりする」といった意見がみられた。



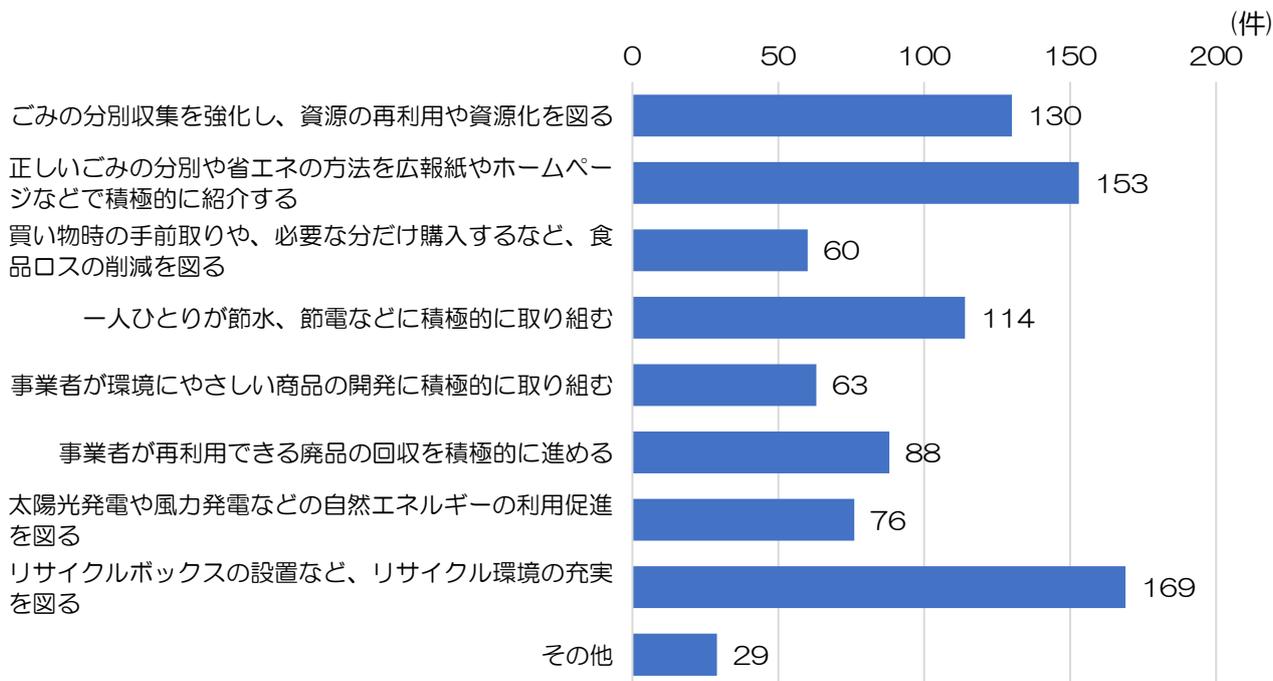
問 13. ごみの減量や省エネルギーについて、なぜ取組を行っていないか

取組みを行っていない原因として、「どのような取組をすれば良いのかわからない」が過半数以上と最も多い理由となっている。その他として「仕事で日中ほとんどいない」「年寄りでおむつ等大量にごみが出てしまう」「老人なので限られている」といった意見がみられた。



問 14. ごみの減量や省エネルギーのために、町内で行うべき取組み(2つまで回答)

最も意見が多かったのは、「リサイクルボックスの設置など、リサイクル環境の充実を図る」であり、次いで「正しいごみの分別や省エネの方法を広報紙やホームページなどで積極的に紹介する」、「ごみの分別収集を強化し、資源の再利用や資源化を図る」が多くなっている。



◆ その他意見

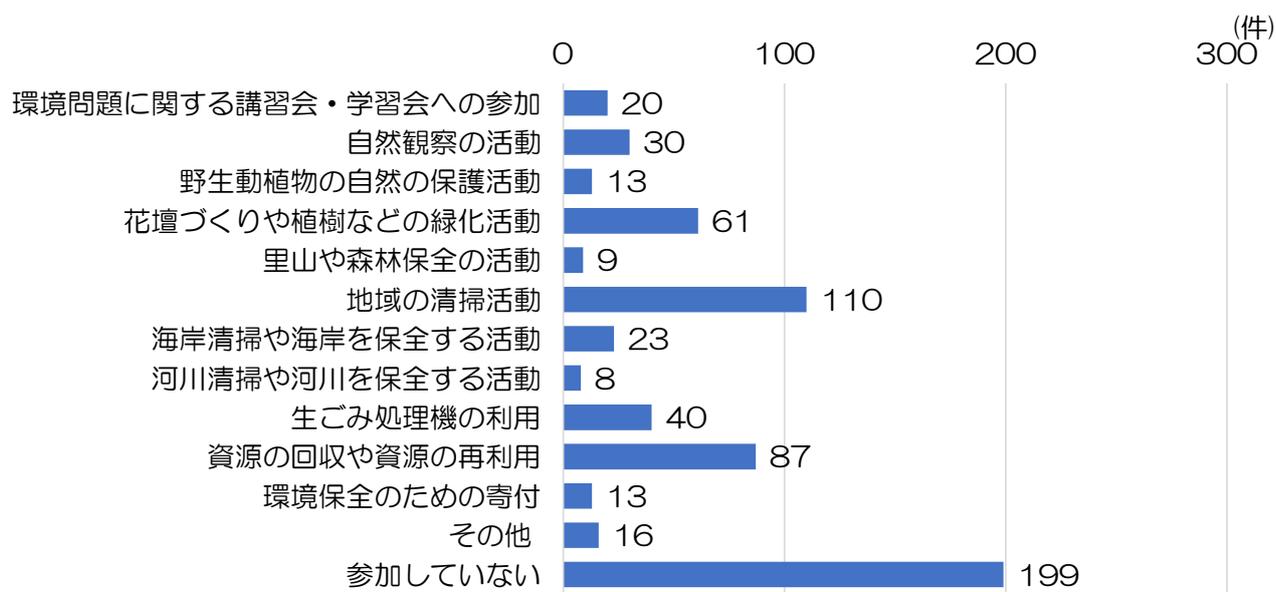
フードロスを縮小するために、コンビニやスーパーで残った食材やお弁当を低所得世帯に渡せる仕組みがあると良い
役所または政治として、施策をすべきで、個人や事業者に頼るのは間違っている
町が発電を行っていく
特に家電家具
電気自動車の利用促進補助事業
1〜8はほぼ限度に達していて、これ以上は望み難いのでいま一度環境が危うい状況にあることを認識させる処から始める
太陽光パネルや、蓄電池を個人購入する際、補助金を付ける。
自然エネルギーを精査したうえで利用する。
秦野市で実施している「生ごみ処理機」購入補助金の導入など
介護などで難しい
生ごみ処理機をすすめる
意識強化に向けた改善指標の設定と進捗状況の共有
平塚市のように民間ではなく公共が運営すべき
目標数値の設定および達成インセンティブの設計、運用
大磯町では、まだ使えるものを処理施設でバザーで販売していてとても良いと思った。
質問が不明、個人が取り組む、町内企業が取り組む、町が取り組む、などが混在しておりアンケート結果に基づくアクションがとれない
ゴミ置き場が少なく、老人には遠いところにありごみを出しにくい
ゴミの回収日を増やしてほしい。フリーマーケットの実施。ボランティアの場を増やす。(環境改善に係る場やイベント、取り組み)
食品ロスの削減、包装資材の削減を図るため、食材を家庭で小分けして保存している。
分別を楽しめるような何か
生ごみをたい肥化する
ペットボトル回収を週1回にしてほしい。
散歩中に捨てたごみを捨てられるシステムがあれば、いい方法がないか。
個々人の意識が不可欠。
生ごみ処理機導入をさらに推進する。
消費者が賢くなる必要がある。町はそれを啓もうする。
生ごみ処理機は電力消費につながる。太陽光発電より温水器が効率がよく望ましい。
ゴミ収集日を増やすべき。少ない。
事業者、消費者が再資源化に協力しやすくなるよう要請する。
平塚のようにゴミ収集所に当番をおく
24時間稼働する事業所の空調室外機の低騒音化
効果を見える化する

3. 環境づくりへの参加や役割

問 15. あなたが現在行っている環境活動について(あてはまるものすべてに回答)

環境活動については「参加していない」が 199 件（約 32%）と最も多くなっている。活動を実践している回答者については、最も多いのが「地域の清掃活動」、次いで「資源の回収や再利用」、「緑化活動」となっている。

自由意見では「地域住民で道路の雑草を刈っている」、「海岸に流れ着いたごみを拾っている」という回答などが見られた。

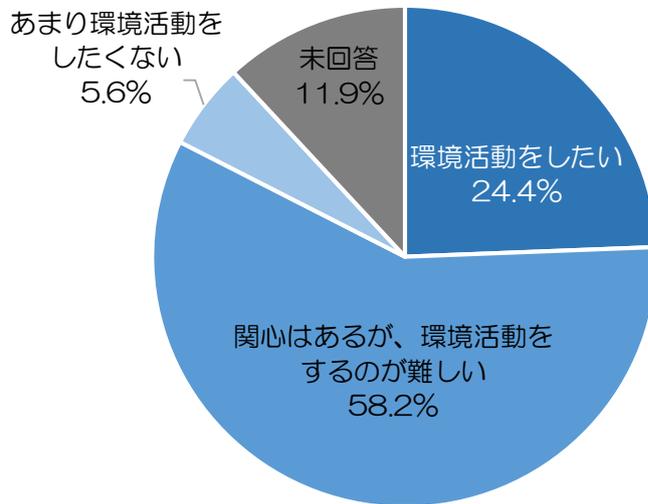


◆ その他意見

障害者の為(足切断)参加は不可能です
人材育成 裸地の解消、田畑の再生
ごみポイ捨て活動
省エネ再エネ事業
近所の清掃、草むしり、ゴミ収集場後の残骸
私個人のゴミ拾い
樹木を残す
故障したら修理して使用する。
ペットの散歩時糞尿の始末に気を付けている
高齢のため
具合がよくない
参加するための手段が分からない
近所の人と家の前 30mを草刈りしている。ガードレールが見えなくなり危険。
環境 NPO 活動
自宅そばの雑草狩り
毎朝道路の掃除

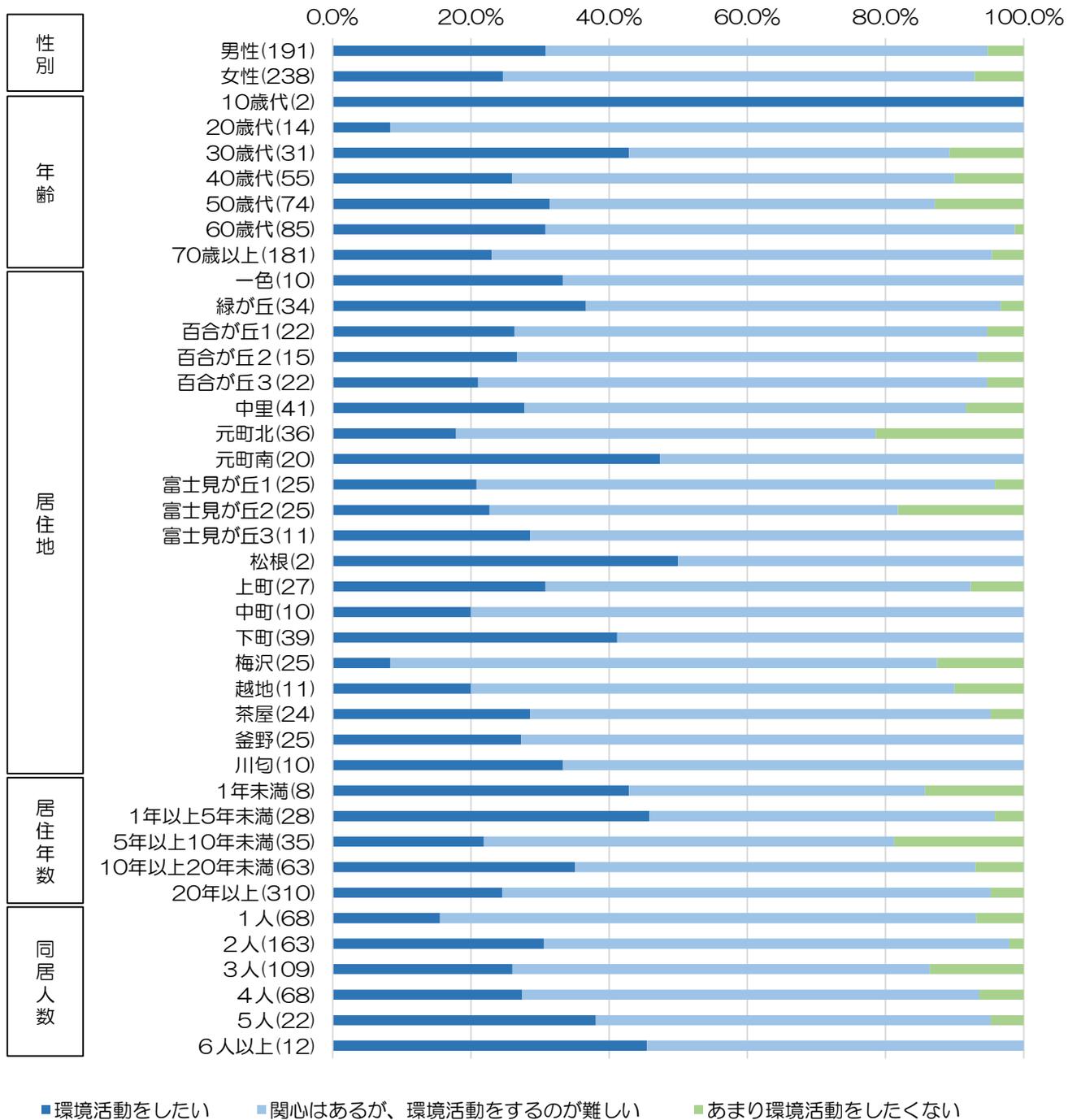
問 16. 今後の環境活動実践の意向

環境活動への参加の意欲は、「関心はあるが、環境活動をするのが難しい」が 58.2%と最も多く、次いで「環境活動をしたい」が 24.4%、「あまり環境活動をしたくない」が 5.6%、未回答が 11.9%となっている。



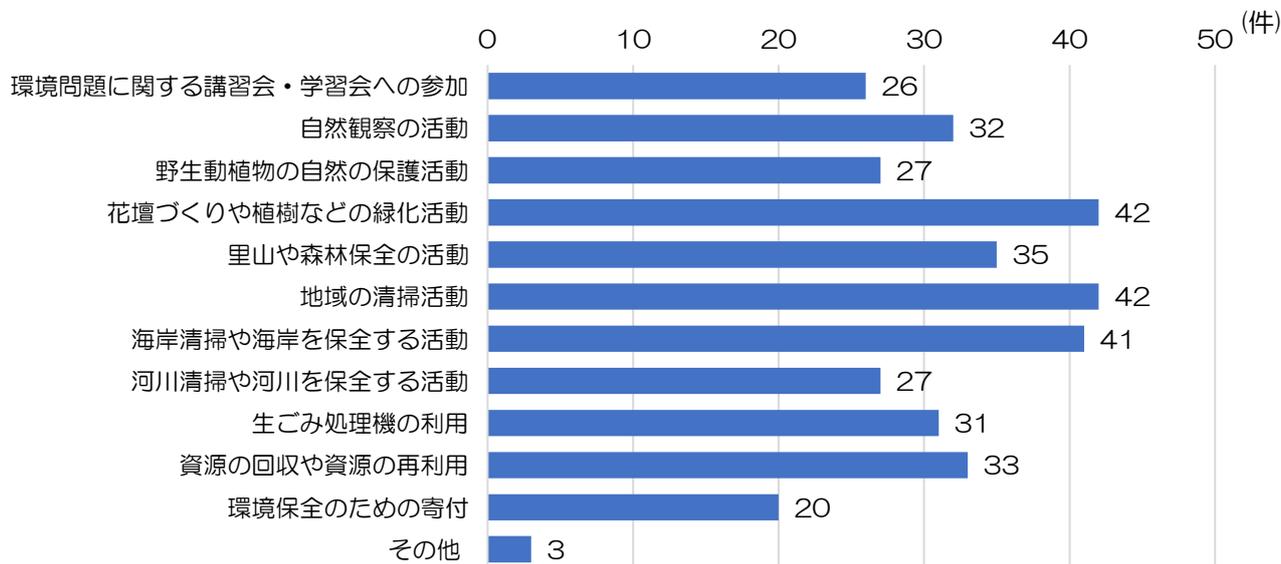
属性別の回答結果では、以下の傾向となっている。

- 性別では、男性、女性の評価に概ね差異はなかったが、男性がやや環境活動をしたいという回答が多くなっている。
- 年齢別では、30 歳代に環境活動をしたいという回答が多くなっている。一方、30 歳代を含めて、40 歳代、50 歳代ではあまり環境活動をしたくないという回答も比較的多く見られる。20 歳代、70 歳以上は、関心はあるが、環境活動をするのが難しいという回答が多くなっている。
- 居住地区別では、元町南、松根、下町での環境活動をしたいという回答が比較的多くなっている。元町北、富士見が丘 2 ではあまり環境活動をしたくないという回答が比較的多くなっている。
- 居住年数別では、5 年未満の居住者で環境活動をしたいという回答者が比較的多くなっている。5 年以上 10 年未満の居住者は環境活動をしたいという回答者が比較的少なく、あまり環境活動をしたくないという回答も多くなっている。
- 同居人数別では、6 人以上の家族では環境活動をしたいという回答者が多くなっている。



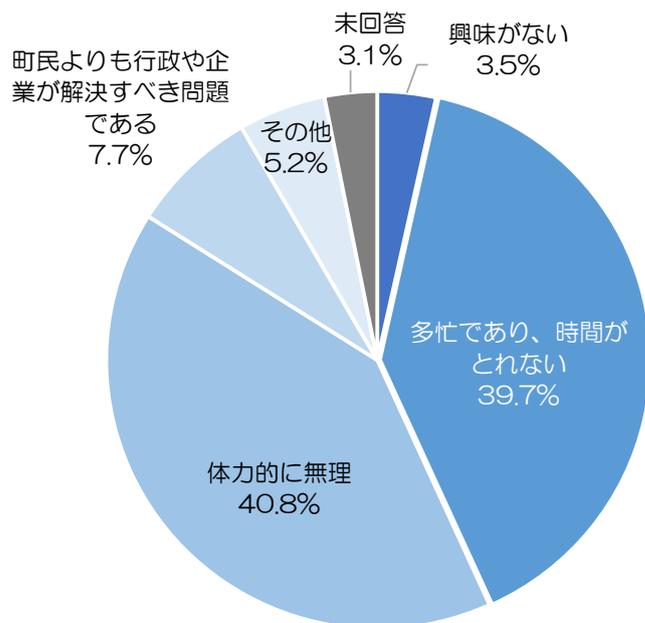
問 17. 今後どのような環境づくりがしたいか(あてはまるものすべてに回答)

今後の環境づくりの意向について、「地域の清掃活動」、「花壇づくりや植樹などの緑化活動」がともに42件と最も多く、次いで「海岸清掃や海岸を保全する活動」、「里山や森林保全の活動」となっている。その他として「子どもが住みやすい環境づくり」「啓蒙、人材育成」「日当たりのいい地域特性を活かしたこと」が挙げられた。



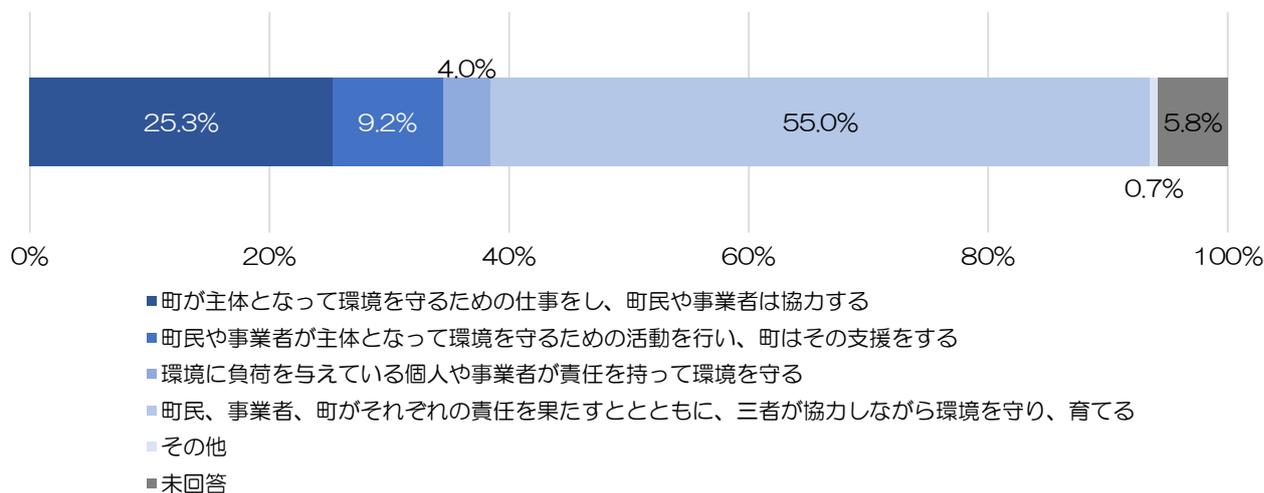
問 18. なぜ環境づくりをしたくないか

環境づくりに参加したくない理由として、「体力的に無理 (40.8%)」、「多忙であり、時間が取れない (39.7%)」が多くなっている。



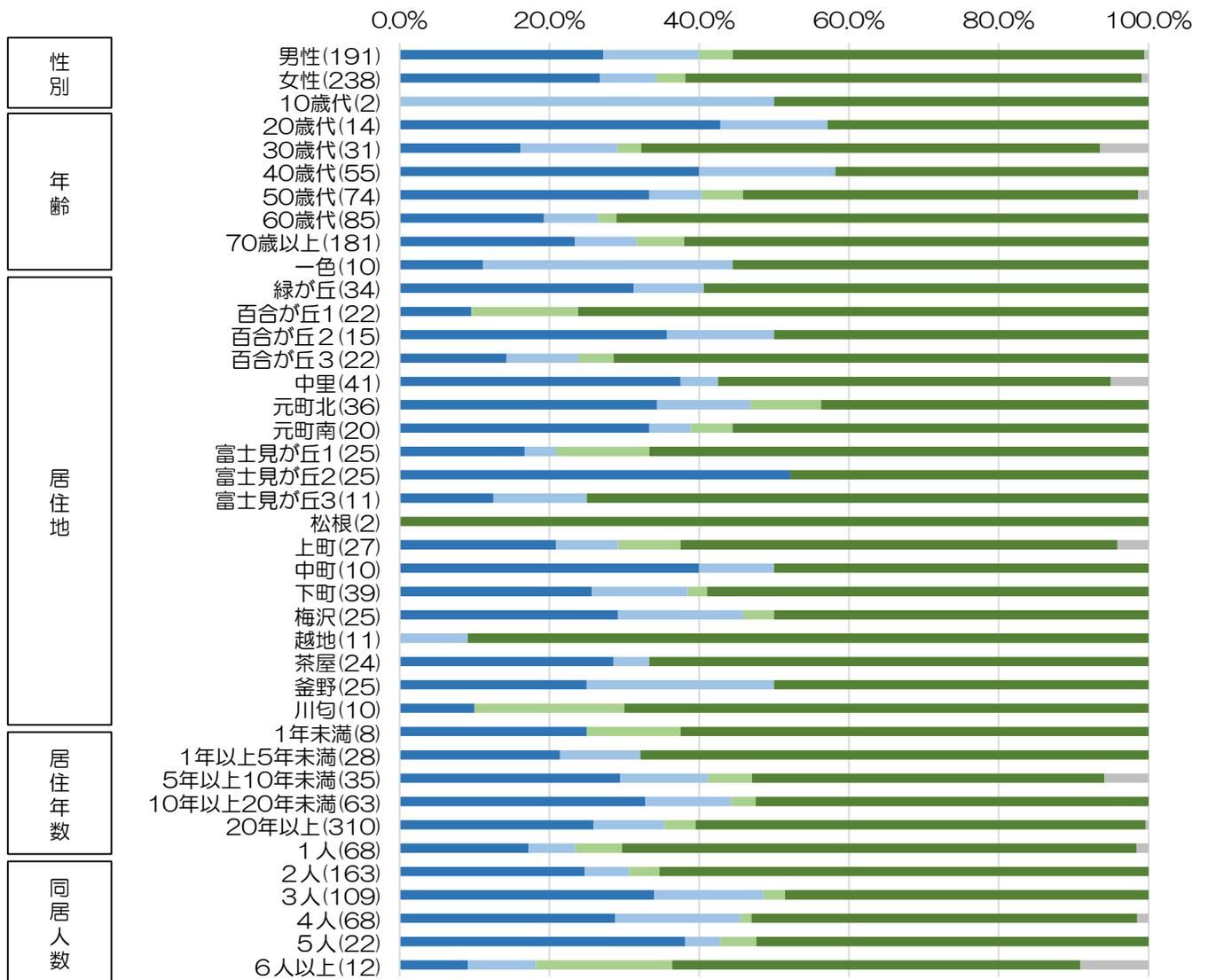
問 19. 環境を守るための役割分担のあり方

環境を守るための役割分担のあり方については、「町民、事業者、町がそれぞれの責任を果たすとともに、三者が協力しながら環境を守り、育てる」の回答（いわゆる三者協働）が 55.0%と最も多くなっている。次いで、「町が主体となり、町民や事業者は協力する」の回答（いわゆる行政主導）が 25.3%と多くなっている。



属性別の回答結果では、以下の傾向となっている。

- 性別では、男性、女性の評価に概ね差異はなかった。
- 年齢別では、20 歳代、40 歳代が三者協働での取り組みの意向が多くなっており、30 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上で行政主導での取り組みの意向が多くなっている。
- 居住地区別では、富士見が丘 2、中町などで三者協働での取り組みの意向が多くなっており、百合が丘 1、百合が丘 3、富士見が丘 1、富士見が丘 3、松根、越地、川匂で行政主導での取組み意向が多くなっている。
- 居住年数別では、5 年以上 20 年未満の層で三者協働での取り組みの意向が比較的多くなっている。
- 同居人数別では、3 人から 5 人の家族の層で三者協働での取り組みの意向が比較的多くなっており、1 人から 2 人、6 人以上の家族の層で行政主導での取組み意向が多くなっている。



- 町が主体となって環境を守るための仕事をし、町民や事業者は協力する
- 町民や事業者が主体となって環境を守るための活動を行い、町はその支援をする
- 環境に負荷を与えている個人や事業者が責任を持って環境を守る
- 町民、事業者、町がそれぞれの責任を果たすとともに、三者が協力しながら環境を守り、育てる
- その他

4. 町の環境行政のあり方について

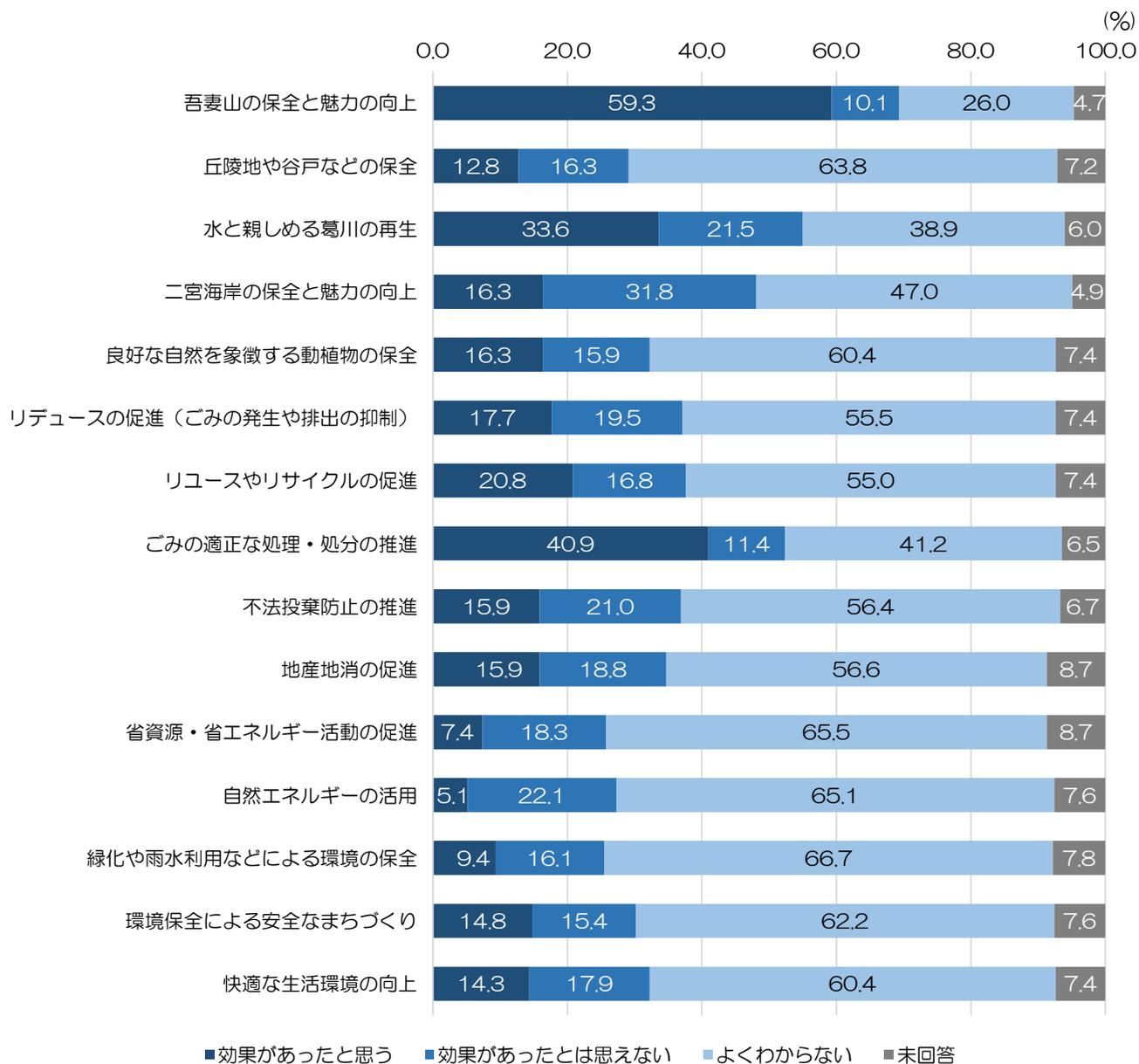
問 20. 取組項目に対する効果と今後重点的に取り組むべき項目

(1) 取組項目に対する効果

効果があったと思う取り組みは、吾妻山の保全について59.3%の回答者が「効果があった」と回答している。次いでごみ処理・処分の推進（40.9%）、葛川の再生（33.6%）について効果があったという回答が多くなっている。

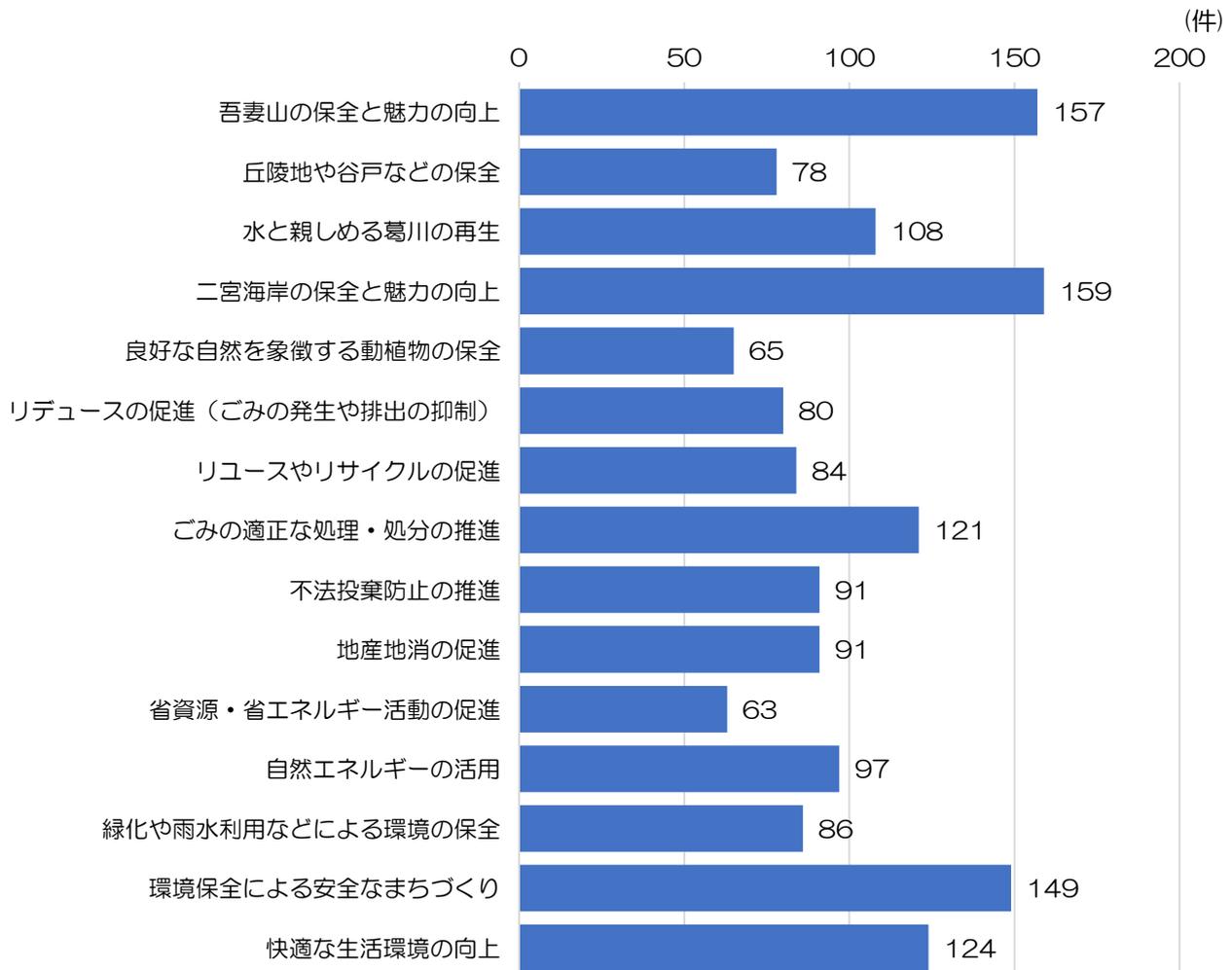
効果がなかったと思う取り組みは、二宮海岸の保全について31.8%の回答者が「効果があったとは思えない」と回答している。次いで、自然エネルギーの活用（22.1%）、葛川の再生（21.5%）が効果があったとは思えないという回答が多くなっている。

なお、全体として「よくわからない」の回答も多く、特に省資源・省エネルギーや自然エネルギーの活用、緑化や雨水利用などによる環境の保全については、65%を超える回答者がわからないと回答している。



(2) 今後重点的に取り組むべき項目(3つまで回答)

今後、重点的に取り組むべき項目については、「吾妻山」と「二宮海岸」の保全と魅力の向上と考える回答者が最も多くなっている。次いで、「環境保全による安全なまちづくり」が多くなっている。



問 21. 自由意見

前述の各設問中の自由意見と同様の意見が多かったが、加えて人口減少や少子高齢化対策への意見、町の魅力向上につながるような取り組みを求める意見等が見られた。

1.バスをダイヤモンドバスにしてほしい。 2.自転車レーンの創設 3.歩道内を自転車が走らないでほしい 但し、65歳以上は可能にする etc… 4.木が無計画に伸びている。特に小田原部分景観が阻害されている。 富士山が見えない。
環境基本条例の中で「良好な環境の体全と……持続可能な発展を…」と謳っているが、具体的な活動が何も なく、達成できたのかまだ道中半ばなのか等、評価することもできない。次期計画では「達成すべき項目と その具体的な数値目標を掲げて取り組むべきである。具体的な数値目標のない活動はやらないほうが良い。
安全と観光、住環境と自然環境は分けて施策下さい 事前に効果を検証し、事後に KPI に基づき実行の効 果を評価してください。その際効果がなかったとしても担当の責任ではないと明文化してください 素人に アンケートをとっても意味ないです
リユースとは若干異なるが、二宮町庁舎の建替えは全く不要であり反対だ！税金の無駄遣い、産業廃棄物の 排出増につながる。建替えたいならその意義・目的とメリットデメリット(町民にとって)を説明すべき。
日常の買物が大変。走る車のスピードが出ているので不安。
環境ではないが、役場の移動先が低土地でカン水の心配あり。 東大あと地をなぜ利用しないのか。交通便 はバス運用などあり、大災のあと、町は何もできなくなる心配あり。東大あと地へ移転すべき。
脱少子化を目指す政策をして欲しい。
ボランティアの普及、募集の登録を実施したらいかがですか？
今回のアンケートで自分が住んでいる町の環境問題に改めて自覚することができました!! もっと関心を持 っていかねばと思います。
釜野 山西地区など国道 1 号線を走るバスの本数が少なくなり大変不便。町のバスをもっと増やすべき。1 日に4、5便では活用できない。買物に行くにも店舗がほとんどなく活用できないしプレミアム商品券を利用 したくてもできなく困る。同じ税金を払っているが不公平を感じる。今までもアンケートが来る度にうっ たえているが何もかわらない。[町はまじめに考えているのか]意見を聞きたい
・駅北口広場の整備とバス・タクシー進路の改善(北口商店街はバス・タクシーの通行を禁ずる)(バス・タク シーは、すべて商工会館交差点を交差するようにする。そのために商工会館を移設し、北から駅への右折車 線を増設する)。 ・西湘バイパス入口の1 国交差点も北から右折車線を増設する。
町長が町の環境方針や環境マニュアル、環境パフォーマンスを明確に毎年の成果を公報で明確に進捗を管理 する。”二宮町の環境パフォーマンスの指標を明確にする。” ex)二宮町内の再エネ率目標〇〇%、二宮町 の小水力発電〇〇Kwh 太陽光〇〇Kwh 風力〇〇Kwh 二宮町の公共施設の電力量 2006 年比 25% 減等、官用車を電力へ、空き家を取壊し町が、太陽効果バイオマス発電を考える。目に見えない環境活動 SDGs はサギと同じです。
梅沢に駐車場を作り町内以外の人から駐車料金をとった方がいい。吾妻山山頂に売店を作った方がいい。そ れらの利益をもって環境保全にあてた方がいい。
◎公共の場所(公園・駅)にゴミ箱の設置が必要だと思います。例えば使用後のマスクが捨てられている(マス クに限らず色々な物が捨てられている) 設置したからと云って必ずしも実行してもらえとは思いません が。設置してもらえることで、少しは環境美化に貢献できると思います。
吾妻山の個人所有地を買い取り、全山にわたる自然公園化を進める。 梅沢海岸沖のすぐれた漁場を生かす べく海岸の有効利用の促進。
自然の中でくらす動植物の為あまり人間の手を入れずにそっとしてあげたい。 動物のえさが足りないのな ら自然の中の動物が食べられる物を、植えてあげたらどうか？ 動物駆除は反対です。動物と共存できよう 願っています。
学校教育の場で SDG' s の学習を取り入れ、子供達の意識啓発をするべき。未来を担う子供達の意見を取り 入れ、二宮の未来を策定した方が価値的。60 過ぎのオジサン 의견を聞くより有意義です。
大型スーパーを作ってほしいです。役場の階段を無くしてほしいです。
もっと活動がわかりやすく町民に伝わるように努力すべきと思う。広報誌に目を引くような紙面作りを考え てみてはいかがか？
今の二宮町の住みやすい環境は、役所の方々のおかげだと思っております。頑張ってください。
最近空家が目に付く気がする。これの良い利用法。
海も山も川もある二宮町！ 大好きな町です。結婚したときから住んでいます(二宮団地→一戸建) 大き な工場もなく空気がきれいなのはとても素晴らしいと思っています。のんびり暮らすには最高の町です。通 勤していた時は早朝必ず、すわれる 犯罪のない、交通事故のない、自然災害の少ない町にして下さい。

自然環境は良いのですが、生活環境として国道 1 号線沿いに食品のスーパーがほしい。梅沢は買物が不便です。老人は大変です。
防災面で、不安な開発を避け、安心安全に生活できる環境の確保、災害時の的確な自治につながる環境整備をおねがいします 防災拠点は安全な所に設置できるように計画願います
○公園の手入れ、整備をしっかり行ってほしい。整備スケジュール等も地域の人に知らせてくれると安心。 ○川にゴミ袋を捨てていく人に対する指導を行ってほしい。 ○ゴミキャンペーンや地域の清掃活動を複数回行って、町のすみずみまできれいになったらいいのだが!!
色々な取組をしているのかもしれないが、広報誌ではモノクロで内容が少なく、個人のインスタは限定的。若い世代がもっと興味を持てるように SNS でフレンドリーに活動を共有できるようになればいいと思います。 二宮町に移住してきた若い世代はこういった取組に積極的だと思います(←そういうのを求めて移住してきたはず)
ごく一部の前向きな住民に隠れて、打てど響かぬ人達の存在があります。彼らの背景、心情を受容し理解と協力を得る取り組みは欠かせないと考えます。可能だと思います。同時に、今から解消しなければ近い将来に大きな痛手となる自然環境の劣化に町ぐるみで当たるムーブメントを創り出す政策を町民に示す時期にあります。
土砂崩れ防止、動植物保全のためにも、山を削ってソーラーパネルを設置したりはしないでほしい。せっかく二宮町は木が多く、保水力も高く、涼しさもある土地なのだから、それを守る方向で環境政策を進めてほしい。
子どもが遊べる広い公園（花の丘公園のような遊具があったり）みたいなところがいくつかあるといい。二宮に住んでいてよかったと思っています。
環境保全に取り組んでいるとは思いますが、町外に仕事などで出ていく人間にはよく見えません。
大雨が降るたびに気が気でなく、ネットで情報を見ると赤または紫になっている。温暖化による環境変化の中、容易に洪水リスクがあることが分かっているのに、行政は怠っていると強く不満を感じる。
道路に面した木々の伐採指導。
自然エネルギーの活用も大変結構だが、太陽光パネル設置のために森林伐採を行うことは環境破壊につながり土砂災害が起きやすくなるので慎重にご検討ください。吾妻山に観光客が訪れているのに、町に還元できていない気がする。電線を地中化してほしい。景観が良くなって移住者も増えるのではないだろうか。
電気自動車の導入支援金を検討してほしい。
土砂災害の危険性の高いエリアなので、災害への取り組みを考えるべき。
町内で釣りをしている人を見かけない。川を利用できる環境を整えるべき。
海のごみひろい day など参加者を募る事が住民にとって当たり前になって定期的にとどの家族も参加することが当たり前になっているような自然保護が行われる温かい町になったら素敵だと思う。
行政がリーダーシップを発揮し、各町内会および各家の負担すべてを明確にし、具体的な目に見える成果を挙げれば、各町民の賛同を得られる。
エネルギーの地産地消の推進。自然の魅力向上。
プラスチックボトルの回収。カン、瓶がなご過ぎてしまいこまっている。
歩道の整地。公園の整備。
海辺のまちなのに海の魅力が感じられなくなってしまったことが残念です。
がけ崩れなどが起こってほしくない。こざれいで安心して住める町であってほしい。
環境改善だけでなく、若い世代や働き盛りの家族が住みたくなるような町づくりをしてほしい。
図書館を 21 時ごろまでやってほしい。出かけたくなるような緑がたくさんある公園。平塚のカナガーデンや小田原のフラワーガーデンのような公園。
全体を整備するのは難しいが、一か所整備されると意識し始める。その見本となるスポットがひとつあれば良いと思う。
住みやすく満足している。野鳥が多いのはいいことだが、フンの被害が多いのも事実。電線の地中設置を検討してほしい
吾妻山は整備され、葛川はきれいになった。魅力はなくなつた川。海岸は台風で荒廃した。魅力ある二宮づくりを今後も期待。
用水路の整備をお願いします。
道路は比較的きれいだが、街路樹や雑草などの整備が出来たらさらに良い。砂浜にはゴミが流れついている。
人と自然が共生する環境のまちとあるが、その魅力が乏しい。「二宮って何があるの?」と聞かれると、大磯と小田原の間のまちとしか答えられない。
湘南バイパスの車の音がうるさい。土日朝夕のバイクの騒音の取り締まりを強化していただきたい。
ゴミ収集場のカラスの対策をしてほしい。根本的な解決がなされていない。
道路の状態が悪い。自然の豊かさは魅力。

今あるものを適切に管理し維持してほしい。自然と人が調和できる環境が望ましい。
環境基本計画を一読したが、今期は何をしたか、何ができたのかわからない。限られた資源を活用するのであれば、選択と集中を意識すべき。
駅の周辺が寂しいところ。吾妻山が町の財産ではないこと。会館がさみしい所。お金を生んでくれるような行事を。
イノシシとカラスの対策の強化
山と海を中心に環境整備、投資をし、たくさんの人が遊びにこれる町づくりを期待します。
自然環境に恵まれた豊かな気持ちで過ごせるまちづくりをしてほしい。自然災害が心配。
生ごみの出し方のルールを具体的に示さないと、カラスの被害により散乱がめだつ
菜の花の二宮とうたっている割に、吾妻山とラディアンの駅に少しの菜の花だけでは見に来た人に恥ずかしい。種の配布をしてはどうか。
東大果樹園の整備が進んだが、ドッグランが整備されておらず中途半端な印象。公園内もロープが張られておらず、自由に散歩できない。街灯が少ない。
緑の多い遊具のある広い公園が欲しい。現状は広くて子供が満足できる遊具があるほかの市の公園に遊びに行くことが多い。
中里のドッグランは、地面が平らではなく、草もすごくとてもドッグランとは・・・これから整備されるのでしょうか？
各地区にある公園の整備と子供たちが安心安全に遊べる環境づくり。葛川の岸辺の整理と葛の苗木植え。
自然豊かで安全な町として住んでよかった、住んでみたいと思うような街であってほしいです。
難しいことは分かりませんが、町民 1 人 1 人が気を付けて、特に不法投棄を行わないこと。あとは町全体として、いつも思うことは 1 人 1 人が家の周りを清掃してきれいだと思えます。
前略、数十年に一度の重大な危険が差し迫っていると、世界各国の報道が伝えられる。日本は大雨特別警報の氾濫・浸水が相次ぐ。コロナ禍の中、日々通学、通勤に利用される二宮駅前、便利で容易に利用できる広場。歩く人も自転車、バイクの人たちもそんなほっとする二宮駅前。
電線の地中化を検討してほしい。風水害時とても心配です。最近風水害が多い。川があふれる。がけ崩れもありそうです。
海岸は出来る限り自然にし、手を加えない。釣り人優先で小屋は景観が悪く、子供が遊びにくく散策もしづらい。10年前のように自然にしてほしい。
二宮海岸の砂浜の復活
生ごみをカラスが荒らすので困る。カラスにエサをあげる人がいるので困る。
特に現在の環境政策についての考え、又は政策について具体的な意見は少しあるが、政策等についての意見の考えは現在においては述べることは次の機会にいたします。
道路や街路樹の整備にもっと予算をあげてほしい。(例えば PR キャラクターの廃止等、その分回してほしい)
海岸の美化、砂浜の復活
外から来た人が二宮を認識できる景観作り(大磯の桜並木・木路)。道路を安心して通行できる整備(自転車、乳母車、車いす)。散歩がゆっくり楽しめる落葉樹の街路樹、川辺のベンチ。道が夏は暑い。素材をアスファルトから水を下に通す素材に変更。雨水をためて敷地や道路に撒くのを推進。
国、県、町、主体で新型コロナ、水害等政策を実施し、新エネルギー等の活用、向上につなげてほしい
山、海、川と自然が豊かな二宮町で適度に便利で住みやすいです。大きな災害に見舞われなくて済んでいるのも保身に努めてくださっているからだと思えます。適度な開発と動植物が共存できる環境維持を望みます。
取組が項目のみであり戦略が見えない。計画として何を指すか、魅力はどのようなブランディングをするのかなどを示してこそ政策となる。
海と山に囲まれた自然豊かな二宮町、未来の人々のために今よりもきれいな水、空気、土を守っていきたいと思えます。1人1人の力が大きな力になる
ゴミは分別、リサイクル、食品ロス等身近なものを積極的に推進してほしい。子供が当たり前に出るような環境づくりをしていきたい。日常生活で意識できるようになったら他の取り組みにも興味を持って実践してくれるかもしれない。
川で安全に子供が遊べる場所や犬と散歩ができるといいと思えます。二宮に引っ越してきてびっくりしたのは、ゴミ置き場が自治体まかせですぐそばにあっても使えなく、遠くで登板の時バケツに水を入れて持っていくのは相当辛いです。
誰もが住みやすい住環境・生活環境の一層の充実を図り、魅力あるまちづくりにつなげてほしい。景観良く四季が感じられる緑やお花の多いまちづくりで人にやさしいまち。自然の保全と併せて災害にも強いまち。「自然エネルギーの活用」の具体的な取り組みは積極的に PR してほしい。町が積極的に取り組み、PR し

ていくと啓発にもつながると思うので、町民に頼らず主導して行ってほしい。SDGs とのリンクも必要では。
南口のことも考えてほしい。買い物する場所内。二宮町の環境推進員が活動していない。交通の便を良くしてほしい。
大磯町、中井町、小田原市との共同事業推進など隣接自治体との合同での環境整備をより推進していただきたい。
特にないが公園整備とか、遊具の老朽化が進んでいて子供を遊ばせてあげることができない重要だと思しますので頑張って取り組んでください
町民が環境づくりに気軽に参加できるように、仲間づくりも目的とした各種イベントの実施。できるだけ町が影の主役として各種、場を設定してほしい。広報（Web 等）の充実を期待。
いつもありがとございます。町民、事業者、町で実行していく政策だと思います。町から頂く郵送物、手間はかかるとは思いますが、全て長形 3 号の封筒に入る郵便物ばかりです。角形 2 号は経費をかけすぎで資源の大量消費です。一考をお願いします。
これからの時代を担う子供たちのために他市町に自慢できる二宮の良き環境と子育てに役立つ子供が生活しやすい環境を特に力を入れて考えないと住む人は減少し町は消滅に向かうことになる。二宮では以前から各小中学校で自然の堆肥を利用し植物の栽培を実践しながら様々な環境問題を考え SDGs を行っていたが、その子供たちが活躍せず地元の魅力を持たず町外に出ていくのがとても残念である。そこから始めないと再生は無理である。
スーパー「ビッグ」とガソリンスタンドの間にある貯水プール？（コンクリート製の水溜）は、役建っているのでしょうか？環境改善と防災設計は両立が難しい場合がありますが、最近の自然災害の多さを考えれば防災優先は当然ですが、防災効果を低下させずに環境への配慮も（困難な場合も多いとは思いますが）必要ではないでしょうか
再生エネルギーの活用。リサイクルの促進。3R の取り組みを促進
移住者を呼び込むために必要なアピールポイントは、二宮町にそろっていると思います。低層住居による空の広さ、星空のきれいさ、海のきれいさと混雑の少なさ、吾妻山の気軽な日常ハイキングと眺望、身近で聞こえる野鳥の声など環境保全計画においてこれらの資産を守っていくことが二宮町の強みとなり、人口増加につながる要因ともなると思います。
二宮町へ移り住んでまだ 1 年強のため上記質問に答えることが出来ません。二宮町は 16 回の引越しの末の最終居住地として選びました。海外を含め、多くの土地を見てきましたが、二宮町の環境保全施策と結果としての現状は突出して優れております。今後の総合環境施策としては、2 点、新幹線以南の市街地環境施策（緑地・公園管理）と以北の県営住宅再開発を含めた一色地区の環境総合開発（ポストコロナとしての居住環境の開発）を進めることが移住推進と年齢ピラミッド維持の鍵と思います。
（歩行者が安心して歩ける歩道）土手の雑草。歩道に植木。そのうえ、自転車すごいスピードで走り抜ける
町がどのようなことを具体的に実践されてきたのかが取り組み項目になくて回答がしにくかったです。ただ、目にしやすい公園整備などは効果があると感じたのでそのような回答をしました。発信が少なく感じます。
街並みの景観、山や建物ばかりでなく、道路も景観の一つ、白線・止まれ文字が町中かすれ消えかけています。交通安全面からも不安です。風水害の危険性・川の流れ、雨が降るたびに山の土・砂が流れ堆積して何年もそのままになっています。近年重機による川の清掃がなされていません。先日の大雨で橋桁に樹木が引っ掛かったままになっています。街中を見渡して環境保全をお願いしたい。公共用地の綺麗さ、テニスコートのフェンスの雑草が伸び放題。西友前の交差点信号が付き安心かと思いきや、高齢者には渡り切れず、もう少し長めに秒数増やしてほしい。西友前信号から次の二宮高校前の直線道路途中、横断歩道ほしいです。中間に住んでいる私は信号まで歩くのが困難、つい県道を横切ってしまう。
環境政策等広報についてだけでなく、ホームページが見にくいし使いにくいので改善してほしい。吾妻山（宮神社）土砂者以外の確認（再発防止）
富士見ヶ丘公園下の法面の草刈りを年 2~3 回業者が行っているが、刈り取った草の処理をせずそのまま放置。草の腐った臭いが一時する。以前は回収していたが指導してほしい。
仕方がないことかもしれませんが道路が狭い。万が一の時に救急車両が入れるのか心配です。
日頃はコミュニティバスを利用させていただき大変助かっています。その結果、二宮町の全容を知ることが出来ました。高齢化が進み利用者も増加傾向ですので、今後ともコミュニティバスの車両や運転者の安全性をお願い致します。各地区を視察することができ、四季の景観を楽しみ防犯にも役立っています。
ラディアンの花の丘公園など公共施設は整備が行き届いているが、町内の公園は緑（草）がはえ、きれいさがなく見えてしまう。子どもも安全に使えるようにもう少しきれいに充実させてほしい。
道路が広がってほしい
地震の被害を防ぐためにも、土手になっている所の整備をお願いしたい。
多項目を取り上げるより、重点的な対策を練った方が良いと思う。

ごみ資源のリサイクル率の諸政策に満足している。今後は町民の啓もう活動も積極的に展開していただきたい。
環境政策について、何が行われているか、何に参加できそうか知る機会がもっとあればうれしい。
駅周辺の景観が悪く魅力を感じない。町内の事業者にもっと燃えるゴミが推進を促すべきだと思う。
中里地区のゴミ捨て場ではカラス除けのためのためにブルーシートと重石を使っているが、重石は危ないと思う。私は足に怪我をしてしまった。
ごみ収集について、日中のカラス対策のために他市町村が行っている夜間収集を検討してほしい。
利便性を求めすぎずに人工的な手を加えすぎない。葛川をメダカが住める清水に。コイは別ブロックで育ててほしい。
横浜からきて早 50 年、駅のホームに降りた時海からくる風と空気のおいしさにびっくりしました。海と山と手つかずの自然に感動しました。素晴らしい二宮町に住み着いてしまいました。生まれ変わっても住みたいです。ありがとう。
今ある豊かな緑を開発せず保全してほしい。鎌倉や茅ヶ崎のように都市化しないでほしい。静かな町であってほしい。
リーダーになる方が欲しい。
環境保全を目的に袖ヶ浦公園の野良猫の避妊・去勢、譲渡、地域ネコ化を行った。その時に袖ヶ浦公園プール横にカヤネズミを認めた。RDB にも掲載されているので、今後保全をお願いしたい。
参加しやすい活動団体。
人口減少歯止め。遊休土地の活用。砂浜の復活。
子どもが自然と安全に触れ合える環境づくりの推進。防災、減災を基点とした道路環境の整備。休耕地、空き家の利用推進。
他市町村と比較すると良好な環境だと思う。高齢になると車を手放さなければならない。できれば日中小型のバスを増やしてほしい。自転車の乗り方が高校生より老人の方が守れていない。危険。
ゴミの分別がみなさんにできるようになれば、収集する方も楽になる。進入禁止の場所（海岸・山）は守るよう厳しくした方がよい。住宅地の道を条例を守って幅を広くしないと、災害、救急の時奥まで車が入れない。
町民に対する発信力をもっと持ってほしい。
海岸清掃を年に一回やっているけど梅沢海岸の漁業者の岸辺のだらしなさ。どうにかしてほしい。漁網や発泡スチロールくずを放置している。
雑草が多く蚊に悩まされている。コイの餌やりを取り締まってほしい。外国人がビール缶を竹やぶに捨てている。
紙ベースのアンケートも必要だとは思いますが、ホチキスはやめた方がよいと思う。
施設の老朽化
里山のような人の手が適度に入った自然
道路や海辺の環境が良くない。
カラス被害でネットをかじられて困っている。町で折り畳みボックスなどの導入を検討してほしい。
緑ヶ丘はとても環境が良い。静か。
美しい袖ヶ浦海岸の復活を望みます。
公共交通機関の利用を促進しているはずなのに、バスが減便になり困っています。何とかありませんか？自転車には乗れません。
プラゴミを減らすべき。ゴミを出すためにわざわざビニール袋を買っているが、これで意味はあるのか。
大雨のたびに土砂災害や水害が起こりそうで怖い。自然豊かな二宮大好きなので、頑張ってください。
自然災害に対して不安の場所がある。
二宮、大磯、中井町との共同でのいのししの対策を願いたい
何に優先的にお金を使うか。
ゴミ捨て場の設置。からすいけいけを設置してほしい。
高齢者の多い町。いつ起こるか分からない災害。憩いの家などを最大限利用できるよう、耐震などの修繕を早急に。避難が長引いた時の対策に、自家発電なども考えていただきたい。人にやさしい町になり、人口が増えた時に新庁舎を考えればよい。防災センターはラティアンで充分。
空いた土地に家を建てすぎて窮屈に感じる。
吾妻山果樹公園とその散策路の保全は特に関心がある。散策に丁度良い距離だと思う。特に吾妻山は駅から近くすぐにハイキングの気分も満喫できる。特に中里からの距離は少し登っただけで深い山に入った感じが大好きなコースです。葛川の再生は町の位置的にも、きれいに流れる川にコイが泳ぐ姿を発見すれば、足を止めて眺めればきれいだと思う。観光につなげたい。
町の環境保全は、やはり町が主体となっていくのが 1 番スムーズに行えると思う。今後の環境政策を町民に示し、町民からも意見を聴取し進めていくのがよいと思う。

空き家や空き地が町並みの景観を悪くしている。
災害への対策をお願いします。
8月の台風の後日、暑い中海岸に流れ着いたごみを3人の男性が拾っており、後日きれいな海岸になっていました。暑い中ご苦労様でした。犬の散歩でマナーを守れていない人がいる。海山川、景色と自然を大切に、空気が良い二宮町に。
自然を大切に、今まで以上に住みやすい町を目指すべきだと思います。
保全を継続しつつ、自然災害を予想し環境整備を意識した政策を考えていただきたい。専門家や大学による研究（農園利用の促進）を町がさらに事業としてサポートして行くことで、町の環境のメリットにつながってほしい。
吾妻山と海岸が二宮町の環境的な魅力の中心だと思う。これらの保全は続けてほしい。
各家庭はもちろんの事、公共施設や飲食店などにも生ごみ処理機導入を促進してもらいたい。（バクテリア de キエーロは特におすすめ）ナラ枯れの深刻化。白いプラの食品トレーが、スーパーでは回収されているが町ではただのゴミ。何とかならないか。
駅前のトイレを新しくし、来町者にきれいなトイレを使ってもらいたい。富士見ヶ丘1丁目、高齢化、空き家の増加に伴い道路の掃除ができなくなっている。何かいい案はないか。
全般的によそに比べ立派な行政だと思います。海岸、山を守る政策を続けてください。
年齢のためあまり出ず友人と会うことが少ない。
大好きな二宮町。自然が豊かで、人々は穏やかで……。これからも安心して老後を送ることができますように。職員の方々のご尽力に感謝いたします。
町が主体となって行っている活動も、地域に限局したものではほかの地域にはわからない。町全体としてスローガンがあれば、分かりやすいと考えます。
地球温暖化にともなう豪雨、スーパー台風の発生が心配されます。そう多くない将来に起こるといわれる地震も気になります。「災害に強いまちづくり」を最優先に進めていただきたい。
海に行くとプラ系のゴミが多い印象がある。ゴミを拾うが、家の中に入れるのは抵抗があるため、捨てられる場所があるといい。
自然環境だけでなく、温水プールやジムなど健康づくりに役立つものは必要だと思う。ドッグランも作ってほしい。
子どもが小さいころ、よく海岸まで散歩していました。孫にもきれいな景色を見せてあげたいです。
町長がTVに出て町のアピールをするのは良いことだと思いますが、せっかくの「ニーノとミーヤ」をアピールせず「おとちゃん」なのはなぜでしょうか？もったいないです。ラディアン公園ですが、フワフワドームで遊びたいと町外から遊びに来ているようですが、遊具がなくつまらないと言っていました。海岸やその周辺、トイレや駐車場なども整備してほしい。袖ヶ浦プールの土地を早くほかの事に活用してほしい。
犬の尿で電柱が倒れた案件がありました。ペットボトルの水で洗い流してほしい。
やや満足している。さらに向上を目指してほしい。
テレビ、PCなどの処理に困っている。高齢者が歩きやすい道づくりを。
住むにはとても良い町です。里山暮らしや釣りができる点をアピールし、二宮に引っ越したくなるような、リモートワークが定着した時代にそこをアピールして欲しいです。
環境行政について知らない人が多いと思うので、くどいくらいアピールした方が良いと思う。
吾妻山に高齢者や車いすでも登れるようにしてほしい
長寿の里二宮。海と緑に囲まれた住みよい町。これからの気象変化やウイルスに負けない町を作してほしい。
現在の環境を壊すことなく、人々が使いやすい環境の整備をお願いします。安全に行動できる道路、皆が集える公園、運動場の整備など
自然環境の大切さ、災害の避難場所の変更を。せせらぎ公園をもう少し魅力あるものに。
環境政策は三者で進めるべき。吾妻山の魅力向上。
水辺の整備をしてほしい。地産地消できる作物を作ってほしい
環境政策に関心はあるが、何をしているか見えにくい。子供が遊べる場所をたくさん作ってほしい。
二宮の自然は絶対に残すべき。果樹園跡地など。「葛川の再生」は進んでいるのか？災害防止にも力を入れてほしい。
高齢者が安心して暮らせることに重点を置いた環境整備を進めたい。高齢者が使えるような公園やウォーキングしたくなる道、途中休憩できるようなベンチなどを整備してほしい。
身近なエリアの環境整備。公園のみならず、街並みや道路など。
居住地区により温度差があるため、全町を通して計画策定してください。
今ある自然を保全してほしい。
道路のゴミに対して罰金、通報者には謝礼金を払う。平塚市では犬のふんに罰金をとっているようです。
葛川沿いの桜が痛んでいるように感じる。遊歩道が整備されるとなうれしい。

取り組み内容や効果が見えない
業者の樹木の伐採は景観や多様性に配慮しているとは思えない。環境より土建業者にやさしいのではないか？
駅前の道路と、商店街を海岸その他の観光地に誘導する雰囲気になさわしい街並みになるよう作り変えてほしい。
町役場の啓もうで、町民の環境に対する意識はとても高いと思う。一部に無頓着、無関心な方がいるため、ごみの散乱、汚染が見られます。
使用済み料理油の回収はとても良いと思いますが、長く住んでいても知らない方がいるので、もっと周知してほしい。生ごみ処理機も同様に。ゴミカレンダーはわかりやすくて良い。自転車利用の促進もいいが、走りづらい道も多いのでそれが課題か。
二宮町の良さをもっとアピールして、若い世代の方たちが移住されるのを願っています。
三者と一緒に取り組むのが大事
観光客を増やすことに力を入れてほしいです。現在は移住や地産地消に注目が集まっていると思うので、町外の方の目線になって環境政策の視点からグリーンツーリズムを取り入れてほしいです。
コロナ禍で宅配に頼ることが増え、梱包などのゴミや交通量が増えた気がする。自然の豊かさは変えないでほしい。
風水害にあった時の避難所の整備
どんな政策があり、どんな効果があったか分からず不明。町民に伝わっていない。
自然が豊かだが、道としての楽しさや接続が悪く、休憩する場所もなく飽きてしまいます。
事業所の騒音低減に取り組んでほしい。とにかく防犯灯がまぶしい。光源が見えないタイプに変更してほしい。
もっとユーモアがあり楽しめる町づくりにして人口を増やし財政を変えて豊かにしてほしい。
調査は、環境を考慮して新たな箱モノではなく、一色小学校を利用する。紙資源の削減のため「広報にのみや」等紙での配布をやめ、HP のみの閲覧にする。
オンライン・オフライン双方で参加型のコンテンツ通じて町民が共創し、楽しく環境保全や循環型のライフスタイルを取り込めるようにリードしていただきたい。
町内の公園でのボール遊びは禁止しているが、高齢者のゲートボールが許されているのが納得いかない。吾妻山公園の景観はいいがそれだけな気がする。里の公園をもっと充実したものにはできないのか？

6. 調査結果のまとめ

本アンケート調査結果全体を通して把握できた事項は以下のとおりである。

- 町民の二宮町の環境に対する満足度は高い結果となった。
- 町民の自然、景観や、公害等の生活環境等に対する満足度は高い結果となった。
- 一方で、道路整備や交通の利便性については不満や改善の意向が多くあることが伺え、環境政策とともに、まちづくり政策や交通政策の課題と併せ、町全体で対応すべき課題となっている。
- 今後の取り組みの重要度としては、満足度と概ね同様の項目が挙げられたが、加えて自然災害対策等についての懸念が見られ重要度が高いと考えている。これは、近年の異常気象の頻発に伴う各地での自然災害の多発に加え、アンケート調査実施直前に熱海市での土砂災害がメディアに多く取り上げられていたことも要因となっていると示唆される。
- 環境情報の入手や、環境保全行動への取り組みについては、町民の一部のみの行動に留まっていることが伺える。さらに、今後の環境保全行動の実践については、関心はあるものの実際の行動が難しいと考えている町民が多い。このことから、町民の環境問題への関心を実践に移すための仕組みづくりが課題である。
- ただし、ごみの分別や省エネ行動、地域の清掃活動、緑化活動、エコバッグ持参など身近な行動については、ある程度、町民生活の中で定着していることが伺え、継続的な取り組みの促進や、実践者の拡大が求められる。
- 環境保全の重要性については、町のシンボルでもある吾妻山や海の環境保全について、町民の関心が高いことが伺える。
- 葛川については、その保全について関心を持つ町民も多く、環境改善や魅力向上への取り組みの意向があることが伺える。